

正誤表

「2024 年度大学院 学生募集要項」の記載に誤りがありました。謹んでお詫びを申し上げますとともに下記のとおり訂正させていただきます。

記

誤) P.25 授業科目表欄外に記載の以下の箇所

【修了要件】

ア 入学の際、6 専攻分野「欧米文化、日本文化、日本語教育学、アジア文化、比較史学、比較文学」より 1 専攻を選択すること。

正)

【修了要件】

ア 入学の際、8 専攻分野「文化論、文化史、欧米史、文学、思想、中国、朝鮮、日本語」より 1 専攻を選択すること。

前年度参考

2024年度

大学院 学生募集要項

8月募集

1月募集

出願期間	7月26日(水) ~8月1日(火) 必着	1月12日(金) ~1月19日(金) 必着
試験日	9月23日(土)	2月24日(土)
合格発表日	10月6日(金)	3月4日(月)

Web出願ではありません 出願書類を、必ず資料請求してください。

大学院入試では、受験番号の照会、受験票の発行、合否照会、合格通知・振込用紙の発行、入学手続等で、受験ポータルサイト「UCARO」を利用します。

「UCARO」の会員登録はP.4をご確認ください。

目次

1	各研究科共通事項	1
	1. 入試日程	
	2. 出願資格	
	3. 事前協議	
	4. 入学検定料	
	5. 出願方法	
	6. 出願及び受験上の注意	
	7. 受験ポータルサイト「UCARO」の会員登録について	
	8. 出願連携について	
	9. 受験票の印刷について	
	10. 合格発表	
	11. 入学手続	
	2024年度入学生初年度学費及びその他諸納金 長期履修学生制度について	
2	文学研究科	12
	募集概要	
	授業科目表	
3	経済学研究科	31
	募集概要	
	授業科目表	
4	法学研究科	49
	募集概要	
	授業科目表	
5	工学研究科	73
	募集概要	
	授業科目表	
6	看護学研究科	99
	募集概要	
	授業科目表	
7	キャンパス案内図	106
8	志願票記入例	108
9	各種記入用紙	110
	◆ 事前協議申込書	(1)
	◆ 履歴票	(2)
	◆ 職務経歴書(表紙)	(3)
	◆ 研究計画書(文学研究科)	(4)
	◆ 社会人(推薦)入学試験 在職(所属)する機関等の推薦状	(5)
	◆ 研究計画書(経済学研究科)(表紙)	(6)
	◆ 出願資格審査願(法学研究科)	(7)
	◆ 研究計画書(法学研究科)(表紙)	(8)
	◆ リサーチペーパー(法学研究科)(表紙)	(9)
	◆ 自己推薦状(法学研究科)	(10)
	◆ 自治体等推薦入学試験 推薦状	(11)
	◆ 既修得単位事前照会願	(12)
	◆ 公募制推薦入学試験推薦状(工学研究科)	(13)
	◆ 入学試験出願資格認定申請書(看護学研究科)	(14)
	◆ 研究計画書(看護学研究科)(表紙)	(15)
	◆ 志望理由書(看護学研究科)(表紙)	(16)
	◆ 長期履修申請書	(17)
	◆ 長期履修計画書(経済学研究科)	(18)
	◆ 在職証明書(経済学研究科)	(19)

2023年度 入学試験状況表

【入学者選抜情報】

研究科	課程	専攻	定員総数	8月募集	1月募集	該当ページ
文学研究科	博士前期課程	英語英米文学専攻	8	●	●	P. 12～
		比較日本文化専攻	8	●	●	
		社会学専攻	8	●	●	
	博士後期課程	英語英米文学専攻	3	●	●	
		比較日本文化専攻	2	●	●	
		社会学専攻	2	●	●	
経済学研究科	博士前期課程	経済学専攻	10	●	●	P. 31～
		経営学専攻	10	●	●	
	博士後期課程	経済学専攻	5	●	●	
		経営学専攻	5	●	●	
法学研究科	博士前期課程	法学専攻(研究者養成コース)	5	●	●	P. 49～
		法学専攻(専修コース)		●	●	
	修士課程	地域創生専攻	3	●	●	
	博士後期課程	法学専攻	2	●	●	
工学研究科	博士前期課程	機械工学専攻	7	●	●	P. 73～
		電気工学専攻	7	●	●	
		情報学専攻	3	●	●	
		建築学専攻	10	●	●	
		土木工学専攻	5	●	●	
		物質生命科学専攻	12	●	●	
	博士後期課程	建築学専攻	3	●	●	
		総合工学専攻	7	●	●	
看護学研究科	修士課程	看護学専攻	8	●	●	P. 99～

1

各研究科共通事項

募集人数、出願資格、選抜方法等は各研究科のページを参照してください。

また、各研究科の学位授与方針、教育課程の編成・実施方針及び入学者受入方針は、関東学院大学ホームページを参照してください。

1. 入 試 日 程

募 集 時 期	8 月 募 集	1 月 募 集
出 願 期 間	7月26日(水)～8月1日(火)必着	1月12日(金)～1月19日(金)必着
試 験 日	9月23日(土)	2月24日(土)
合 格 発 表 日	10月6日(金)	3月4日(月)
入学手続期間	[入学金納入期間] 10月6日(金)～10月20日(金) [春学期学費及びその他諸納金納入期間] 10月6日(金)～2024年1月12日(金)	[入学金・春学期学費及びその他諸納金納入期間] 3月4日(月)～3月8日(金)

※「出願資格」の認定を希望する者は、8月募集については6月26日(月)までに、1月募集については12月4日(月)までに、アドミッションズセンターへ申し出てください。

詳細は、関東学院大学 受験生サイト <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/> にてご確認ください。

※大学院入試は https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/admissions_info/others/graduate/ こちら。

2. 出 願 資 格

(一般入学試験以外の入試については、各研究科のページをあわせて確認してください。)

【博士前期・修士課程 一般入学試験】

下記のいずれかに該当する者、または2024年3月末までに該当する見込みのある者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学等において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 2024年3月31日時点で大学に3年以上在学し、または外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認められた者
- (10) 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時（4月1日現在）に22歳に達している者

【博士後期課程 一般入学試験】

下記のいずれかに該当する者、または2024年3月末までに該当する見込みのある者

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 修士の学位または専門職学位に相当する外国の学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 文部科学大臣の指定した者
- (6) 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、入学時（4月1日現在）24歳に達している者

3. 事前協議

出願に先立って事前協議を行うことがあります。

各研究科「事前協議」の項目を参照してください。

4. 入学検定料

35,000円

納入方法

- (1) 本学所定の志願票に必要事項を記入のうえ、金融機関窓口（ゆうちょ銀行 使用不可）より「電信扱」で振り込んでください。（自動振込機〔ATM〕は不可）
- (2) 振り込み後、志願票の所定欄に取扱金融機関収納印が押印されていることを確認してください。取扱金融機関収納印がない場合は、入学検定料を振り込んだ証明にならないので十分注意してください。

注] 関東学院大学を卒業（見込み）または関東学院大学大学院を修了（見込み）の者が受験する場合、入学検定料は免除となりますので、入学検定料を振り込まずに出願してください。
詳しくはアドミッションズセンター（Tel. 045-786-7019）までお問い合わせください。

5. 出願方法

- (1) 本学の受験生サイトより、出願に必要な書類（志願票、出願封筒）を資料請求してください。
資料請求ページ：https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/application_request/
- (2) 出願書類は、本学所定の出願封筒を使用して簡易書留速達で郵便局窓口より郵送してください。
- (3) 大学へ直接出願する場合は、入学検定料を金融機関で振り込んだ後、出願書類を以下に持参してください。

受付場所……………アドミッションズセンター（金沢八景キャンパス：1号館2階）

受付時間……………月～金 9：00～16：00（11：10～12：10を除く）

土 9：00～12：00

※日・祝日・夏期・冬期休業期間等を除く

※一度提出された出願書類は、返還しません。

6. 出願及び受験上の注意

- (1) 一度提出した書類及び入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。
- (2) 受験票は、すべて受験ポータルサイト「UCARO」を通じて発行します。A4サイズで印刷して、試験当日に必ず持参してください。「UCARO」の利用方法はP.4～P.7を参照してください。
 受験票ダウンロード開始日時（予定） 8月募集：9月5日(火) 1月募集：2月5日(月)
- (3) 試験当日、試験場案内を配付しますので、以下の場所で受け取ってください。

文学研究科 経済学研究科経済学専攻 経済学研究科経営学専攻 工学研究科	}	……アドミSSIONズセンター（金沢八景キャンパス：1号館2階）
法学研究科……………関内キャンパス 1階 エントランスホール 看護学研究科……………学部庶務課（人間共生学部、栄養学部、教育学部、看護学部） （金沢八景キャンパス：図書館棟1階）		
- (4) 試験室には、試験開始30分前までに入室してください。
- (5) 各試験開始後20分以上遅刻した場合は、受験を認めません。

受験及び修学上の配慮が必要な方へ

関東学院大学では、すべての学生が等しい条件の下で安心して学生生活を送ることができるように、必要に応じて修学環境を整える支援を行っています。入学後は自立して修学できることを原則としていますので、修学上の配慮が必要な場合、出願される前に本学の授業を履修できるかどうかについて相談していただく機会を設けています。

また入学者選抜においては、障がいや疾病、怪我などにより受験上の配慮が必要な場合、公平性、公正性が担保されることを条件に、適正な配慮措置を行います。

例：別室受験、補助器具の使用、試験時間の延長など

ただし、障がいの状況や配慮の内容によっては対応が困難な場合もあります。必ず出願締め切りの4週間前までにアドミSSIONズセンター（045-786-7019）へご相談ください。

なおご相談いただいた内容が、入学者選抜の合否判定に影響を及ぼすことはありません。配慮の申し出等の詳細は、以下のページをご確認ください。

〈受験及び修学上の配慮が必要な方へ〉 <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/about/considering/>

感染症に関する注意事項

試験当日、学校において予防すべき感染症（学校保健安全法施行規則の規定によるインフルエンザ、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘等）や新型コロナウイルス感染症に罹患し、治癒等による出席停止の期間が経過していない受験生は、他の受験生等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りではありません。

詳細については本学ホームページ「受験生サイト」にてご確認ください。

7. 受験ポータルサイト「UCARO」の会員登録について

大学院入試では、受験票発行から入学手続まで、受験生が利用するシステムを集約した受験ポータルサイト「UCARO」を利用します。「UCARO」とは、会員登録（無料）をすると、受験番号の照会、受験票の発行、合否照会、合格通知・振込用紙の発行、入学手続をWeb上で行うことができるシステムです。「UCARO」の会員登録については以下の手順を参照してください。



会員登録

- (1) 「UCARO」 <https://www.ucaro.net/> にスマートフォンまたはパソコンからアクセスしてください。
- (2) 新規会員登録のページから以下の手順で会員登録を行ってください。

メールアドレスを登録します。

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。

本登録用のURLが記載されたメールが自動配信されます。

パスワードを登録します。

関東学院大学を選択し、会員登録は完了です。

【備考】

- ・「UCARO」への会員登録は出願期間前に行うことができます。
- ・すでに「UCARO」に会員登録した方は、同じID・パスワードでログインし、「お気に入り大学」に関東学院大学を設定してください。
- ・過年度に「UCARO」に会員登録した方は、もう一度新規会員登録が必要です。
- ・「UCARO」のメッセージ機能や、携帯電話のショートメッセージサービス（SMS）を用いて本学から連絡する場合があります。

「UCARO」は株式会社ODKソリューションズが提供するサービスです。個人情報の取り扱いについては「UCARO」にて確認してください。また、「UCARO」の使用方法などで、不明点がある場合には、下記にお問い合わせください。

「UCARO」お問い合わせ窓口TEL.03-5952-2114
10:00～18:00

8. 出願連携について

「UCARO」で受験票（PDF）の発行や合否確認を行うために、「UCARO」に会員登録後、「出願連携」を行う必要があります。出願連携を行うには、志願票に記載されている「出願番号」が必要ですので、メモをとるなどして必ず控えておいてください。

「出願連携」は「UCARO」にログインして、下記の手順で行ってください。

「UCARO」 <https://www.ucaro.net/>

出願連携は、下記の日時以降に行ってください。

- 8月募集：9月5日(火) 午前10時
- 1月募集：2月5日(月) 午前10時

出願連携の手順



「UCARO」トップページのメニュー（右上「≡」を押し展開）から「**出願連携**」を選択します。

「UCARO」のログインパスワードを入力します。

個人情報を入力。（志願票に記載した内容と同内容を入力してください※）

出願媒体は「紙出願」を、出願大学は「関東学院大学」を選択します。

「出願番号または受験番号」欄に「出願番号」を入力すると、「出願連携」が完了します。

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。

出願連携での注意

志願票に記入した氏名、生年月日、電話番号を正しく入力してください。

※電話番号は志願票の「電話番号（自宅）」欄に記入した番号を入力してください。ただし、当該欄に記入していない場合は「電話番号（携帯）」の欄に記入した番号を入力してください。

9. 受験票の印刷について

受験票は「UCARO」のマイページ「受験一覧」にて各自ダウンロードしてください。

A4サイズで印刷し、試験当日に必ず持参してください。

自宅にプリンターがない場合は、学校やコンビニエンスストア等を利用して印刷してください。

※試験日前日までに必ずダウンロード・印刷してください。

受験票ダウンロード開始日時

8月募集：9月5日(火) 午前10時

1月募集：2月5日(月) 午前10時

※受験票ダウンロード後、記載内容を確認してください。万一誤り等がありましたら、試験日より前にアドミッションズセンターまで連絡してください。

ただし、本人の志願票の誤記入による出願内容の変更は一切認められませんのでご注意ください。

※受験票の漢字氏名については原則、JIS「第1・第2水準」に基づき、本学の電算処理上、表記できない文字を新字体に置き換えるか、カタカナ等で表記する場合があります。あらかじめご了承ください。

※受験票への一切の書き込みを禁止します。

※受験票は、合格発表時まで大切に保管してください。

「UCARO」での受験票印刷方法

受験番号・受験情報の確認・受験票の印刷は、「UCARO」

<https://www.ucaro.net/> にアクセスして行ってください。



「UCARO」にログインしてください。

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。

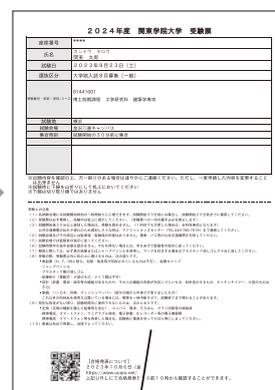


トップページの「受験一覧」をクリックし、確認したい受験番号を選択してください。



受験番号と受験情報が確認できます。

ここから受験票をダウンロードできます。



A4サイズで印刷し、試験会場に持参してください。

10. 合格発表

受験ポータルサイト「UCARO」で合否を確認することができます。

「UCARO」にログインのうえ、メニューの「受験一覧」から「合否照会」を選択して各自で合否を確認してください。

合格発表日

8月募集：10月6日(金) 午前10時～

1月募集：3月4日(月) 午前10時～

注] 本学への電話等による合否に関する直接の問い合わせには一切応じません。また、キャンパス内での掲示による発表や通知書類の郵送は行いません。

「UCARO」での合否照会手順

合否の確認は、「UCARO」<https://www.ucaro.net/> にアクセスして、照会してください。合格発表日の午前10時から照会できます。



「UCARO」にログインしてください。

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。



トップページの「受験一覧」をクリックし、確認したい受験番号の「合否照会」を選択してください。



合否の結果が確認できます。

合格通知書をダウンロードできます。

11. 入学手続

◎合格発表後、入学手続時も、引き続き受験ポータルサイト「UCARO」を使用します。入学手続の詳細は「入学手続要項」を確認し、下記の手続きを必ず行ってください。本学より手続書類の郵送は行いません。

- 納入期間内に、入学金、春学期学費及びその他諸納金を納入してください。
- 入学手続期間内に、「UCARO」で入学手続に必要な情報を登録してください。
- 卒業（修了）見込みの出願資格で受験した者は「卒業（修了）証明書」を提出（既卒で出願した者は提出不要）、外国籍の者は「住民票の写し」も提出してください。

納入期間内に入金を確認できない場合、入学資格を失いますので、ご注意ください。

入学手続期間

8月募集	[入学金納入期間] 10月6日(金)～10月20日(金) [春学期学費及びその他諸納金納入期間] 10月6日(金)～2024年1月12日(金)
1月募集	[入学金・春学期学費及びその他諸納金納入期間] 3月4日(月)～3月8日(金)

「入学手続サイト」で「入学手続要項」を確認する方法

合格発表後「入学手続サイト」に掲載される「入学手続要項」にて、詳細を確認してください。

「入学手続サイト」には、「入学手続要項」以外にも、入学式やオリエンテーションの日程に関するお知らせなど、合格者が入学までに必要となる情報を掲載しています。

可否照会画面より「入学手続きサイト」へのリンクを掲載しています。

「UCARO」にログインしてください。

画面・デザイン等は変更になる可能性があります。

トップページの「受験一覧」をクリックし、確認したい受験番号の「可否照会」を選択してください。

手続サイトへのリンクをクリックします。

「入学手続要項」を確認してください。

注1] 入学手続完了後、入学を辞退する場合は、2024年3月29日(金)16:00までに入学辞退の手続をした者に限り、入学時納入金のうち入学金を除いた金額を返還します。詳細は、入学手続要項で確認してください。

注2] 卒業または修了見込みの者で、2024年3月までに卒業または修了できなかった場合は、合格取り消しとなり、入学資格を失います。

注3] 本学出身者は、卒業（修了）証明書を提出する必要はありません。

〈寄付金について〉

入学時に寄付金・学債の募集は行いません。ただし、入学後任意の寄付金募集のご案内をすることがあります。

関東学院大学における個人情報保護について

出願に際して関東学院大学にお知らせいただいた住所、氏名その他個人情報は、
本学院の個人情報保護に関する規程に則り、
大学入試事務の範囲内においてのみ利用いたします。

関東学院における個人情報保護の取り組みについて

<https://www.kanto-gakuin.ac.jp/>

関東学院大学（大学院）
2024年度入学生初年度学費及びその他諸納金

(単位 円)

研究科 費目	文学研究科		経済学研究科		法学研究科		工学研究科		看護学研究科	
	博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程	修士課程・博士前期課程	博士後期課程	博士前期課程	博士後期課程	修士課程	
学 費	入学金	※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000		※(1) 150,000
	授業料	500,000	610,000	500,000	610,000	500,000	610,000	580,000	730,000	780,000
	施設費	62,000		62,000		62,000		82,000		123,000
	実験実習費	—		—		—		120,000		120,000
諸 納 金	学会費	10,000		9,000		9,000		7,000		6,000
	学生教育研究 災害傷害 保険料	※(1) 2,430	※(1) 3,620	※(1) 2,430	※(1) 3,620	※(1) 2,430	※(1) 3,620	※(1) 2,430	※(1) 3,620	※(1) 2,430
委 託 徴 収 金	同窓会費	※(2) 60,000		※(2) 60,000		※(2) 60,000		※(2) 60,000		※(2) 60,000
合 計	入学時 納入金額	438,430	494,620	437,930	494,120	437,930	494,120	546,930	623,120	666,930
	1年次10月 納入金額	286,000	341,000	285,500	340,500	285,500	340,500	394,500	469,500	514,500
計	合計	724,430	835,620	723,430	834,620	723,430	834,620	941,430	1,092,620	1,181,430

〔注〕

1. 本学大学院修士課程若しくは博士前期課程または法務研究科を修了した者が、他の研究科を含む博士後期課程に進学した場合は、入学金を必要としない。
2. 本学学部を卒業した者または本学専攻科を修了した者が、大学院修士課程若しくは博士前期課程または博士後期課程に入学した場合は、入学金を3分の1とする。
3. 本学大学院修士課程または博士前期課程を修了した者が、他の研究科(専攻を含む)修士課程または博士前期課程に再び入学した場合は、入学金を2分の1とする。
4. ※(1)印は、入学時のみ納入とし、翌年度以降は納入不要とする。
5. ※(2)印は、2年次4月に全額を納入するものとし、休学等の理由により4月未納で秋学期に復学する場合は、10月に全額を納入するものとする。
6. 本学学部を卒業した者または本学専攻科若しくは本学大学院修士課程若しくは本学大学院博士前期課程を修了した者は、同窓会費の納入は不要とする。
7. 上記学費・諸納金以外に入学時の寄付金・学債は、徴収しない。ただし、入学後任意の寄付金を募集することがある。
8. 在学中の学費は、社会情勢等の変化に応じて、改定する場合がある。

長期履修学生制度について

1. 制度の概要

長期履修学生制度とは、学生が、職業を有している等の事情により標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度です。

たとえば、2年間で修了するためには、1週間につき数回（日）の登校が必要になるところを、3年または4年計画で1週間あたりの登校を減らして、計画的に履修し、仕事との両立を図りながら修了を目指すことができます。

なお、この制度は、単位の修得状況や学位論文の審査過程による修了が延期となる（いわゆる留年）者を救済するものではありません。また、療養、出産、海外留学等一定の期間履修することができない場合には、長期履修学生制度ではなく、休学の対象となります。

2. 対象者

職業を有している者または長期履修が必要となる相当の理由を有する者を対象とします。

3. 長期履修期間

在学年限（博士前期課程・修士課程4年、博士後期課程6年）の範囲内で、1年単位で長期履修期間を定めることができます。

4. 授業料・施設費（工学研究科、看護学研究科は実験実習費も含む）

文学研究科 経済学研究科 法学研究科	通常の授業料・施設費の年額×標準修業年限÷長期履修許可年限
工学研究科 看護学研究科	通常の授業料・施設費・実験実習費の年額×標準修業年限÷長期履修許可年限

長期履修期間を終了してもなお修了できずに在学する場合の授業料・施設費・実験実習費の額は、通常の授業料・施設費・実験実習費の額と同額になります。

5. 申請の時期

入学を希望する者については出願期間内とします。

在学生は、適用を受けようとする前年度の1月末日とします。

したがって在学生のうち最終年次に在学する者は申請することができません。

6. 申請書類

申請時には、次の書類が必要となります。

- (1) 長期履修申請書（本要項巻末の用紙を使用すること）
- (2) 長期履修計画書（自由書式。ただし経済学研究科のみ、本要項巻末の長期履修計画書を使用すること）
- (3) 長期履修が必要であることを証明する書類（自由書式。ただし経済学研究科のみ、本要項巻末の在職証明書を使用すること）
- (4) その他、学長が必要と認める書類

※上記(2)(3)の様式については、アドミッションズセンター（Tel.045-786-7019）にご相談ください。

7. 採用可否の通知

長期履修としての採用可否の通知は、大学院入試の合格発表とは別に通知します。

8. 長期履修期間の変更

長期履修期間中に、修業環境の変化等により必要が生じた場合には、1回に限り長期履修期間の変更（短縮または延長）を申請することができます。この場合の授業料・施設費・実験実習費（工学、看護学研究科のみ）は、在学期間と長期履修期間に応じ、修了までに「通常の授業料・施設費・実験実習費（工学、看護学研究科のみ）の年額×標準修業年限」の合計額が納入されるよう再計算します。

1. 募集人数

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
文学研究科	英語英米文学専攻	8	3
	比較日本文化専攻	8	2
	社会学専攻	8	2

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、社会人推薦入学試験（博士前期課程：社会学専攻のみ）、外国人留学生入学試験、英語検定有資格者特別入学試験（博士前期課程：英語英米文学専攻のみ）で募集します。

2. 出願資格

【博士前期課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

- ① 本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者
- ② 本学を卒業後、5年以内の者で、研究意欲及び人物ともに優れ、出願に先立って在学時の所属学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者
※受験希望者は出願前にお問い合わせください。

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し（ただし、見込みの者を除く）、職務経歴書を提出できる者〔ただし、大学卒業後1年以上経過した者もしくは満25歳に達した者で、在職経験のある者または現在在職している者（家事専従者を含む）〕

(4) 社会人推薦入学試験（社会学専攻のみ）

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、地方自治体等の公的機関、学校教育法に基づく教育機関、医療法人または社会福祉法人等に勤務し、所属する当該機関の長により推薦された者

(5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

(6) 英語検定有資格者特別入学試験（英語英米文学専攻のみ）

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの資格を有していること

- ① TOEFL ITP550点以上（iBT79点以上）
- ② 英検準1級以上
- ③ TOEIC（L&R）800点以上

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学文学研究科博士前期課程を修了後5年以内の者、または修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦され、本研究科が出願を認めた者

※受験希望者は出願前にお問い合わせください。

(3) 社会人入学試験

・英語英米文学専攻

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、職務経験書を提出できる者で、原則として志望する専攻またはそれに関連ある修士の学位を有する者

・比較日本文化専攻、社会学専攻

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、職務経験書を提出できる者

(4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（「留学」）を取得できる者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者（ただし、日本語を第一言語としていないこと [※社会学専攻のみ]）

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議

博士前期課程志望者（学内推薦入学試験は除く）及び博士後期課程志望者は、出願に先立ち、志望する研究分野の指導教授と事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、「履歴票」（本要項巻末の用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）、博士後期課程を希望する者は加えて修士学位論文（またはこれに準ずるもの）の写し1部と研究計画書（本要項巻末の用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）を以下の申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。ただし、本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）については、事前協議を行いません。

なお、事前協議終了時に内諾書の交付を受けてください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月5日（水）	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	12月4日（月）		

4. 出 願 書 類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一般入試	学内推薦入試	社会人入試	社会人推薦入試	外国人留学生入試	英語検定有資格者 特別入学試験
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○	○
2	※履 歴 票		○	○	○	○	○	○
3	写 真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影した もの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○	○
4	成 績 証 明 書	注1、3]	○	○	○	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門 学校の専攻科修了見込みの者は、修了 見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者 は、修了（見込み）証明書及び高度専門士 の称号を取得することを証明する書類	○	○	○	○	○	○
6	※研 究 計 画 書		○	○	○	○	○	○
7	※職 務 経 験 書	2,000字程度、職務またはそれに準ず るもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	—	○	—	—	—
8	※推 薦 状	在職する機関の長の推薦状	—	—	—	○	—	—
9	資 格 取 得 証 明 書	一般入学試験の場合、試験科目「外国 語」（比較日本文化専攻）、「英語」（社 会学専攻）の免除を希望する者のみ該 当する資格試験に関する証明書を提出 （写し可）	○ （該 当 者）	—	—	—	—	○
10	内 諾 書	志望する研究分野の希望指導教授が作 成したもの	○	—	○	○	○	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

【博士後期課程】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一般入試	学内推薦入試	社会人入試	外国人留学生入試
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○	○
2	※履 歴 票		○	○	○	○
3	写 真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○
4	修士課程(博士前期課程) 成 績 証 明 書	注1、2)	○	○	○	○
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2)	○	○	○	○
6	修士学位論文または それに準ずるもの	写し1部及び要旨3部	○	○	○	○
7	※研 究 計 画 書		○	○	○	○
8	※職 務 経 験 書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	—	○	—
9	内 諾 書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）は不要	○	—	○	○

注1) 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2) 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3) 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

5. 選 抜 方 法

- (1) 入学者の選抜は、筆記試験、面接、提出された書類を総合して行います。
- (2) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者については、(1)に加えて、日本語の能力を判定するために論文試験あるいは面接試験を課すことがあります。[対象：英語英米文学専攻、比較日本文化専攻 博士前期課程、社会学専攻 一般入学試験、社会人入学試験、社会人推薦入学試験 (社会学専攻のみ)]

6. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程】

(1) 英語英米文学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	100点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	—	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	150点	10：20～11：50 (90分)	与えられた短い英文に関する日本語による小論文（辞書使用不可）
面接	—	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	50点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	—	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

⑤ 英語検定有資格者特別入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

(2) 比較日本文化専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	9:00~10:00 (60分)	出願時に「英語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」の中から第一言語を除く1科目を選択 辞書使用可(ただし、電子辞書を除く) 以下の外国語について、所定の能力資格を有する者は、外国語を免除する。 英語 ①TOEFL ITP550点以上(iBT79点以上) ②TOEIC(L&R)730点以上 中国語 ①中国語検定3級以上 ②HSK4級以上 フランス語 ①仏検準1級以上 ②DELF B2以上 韓国語・朝鮮語 ①ハングル能力試験準2級以上 ②韓国語能力試験4級以上
専攻科目	100点	10:20~11:50 (90分)	出願時に別表①「比較日本文化専攻 博士前期課程 試験科目(分野)表」から1分野を選択
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	出願時に別表①「比較日本文化専攻 博士前期課程 試験科目(分野)表」から1分野を選択
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	日本語による小論文 出願時に別表①「比較日本文化専攻 博士前期課程 試験科目(分野)表」から1分野を選択
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

(別表①) 比較日本文化専攻 博士前期課程 試験科目(分野)表

分 野	
欧米文化 日本文化 アジア文化	比較史学 比較文学 日本語教育学

(3) 社会学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	英語辞書使用可(ただし、電子辞書を除く) 以下のいずれかに該当する者は、英語を免除する。 ① TOEFL ITP550点以上(iBT79点以上) ② TOEIC(L&R)730点以上
専攻科目	100点	10:20~11:50 (90分)	出願時に「社会学」、「社会福祉学」よりいずれか1科目を選択
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10:20~11:50 (90分)	出願時に「社会学」、「社会福祉学」よりいずれか1科目を選択
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

④ 社会人推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

⑤ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10:20~11:50 (90分)	専門分野に関する日本語による小論文
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

【博士後期課程】

(1) 英語英米文学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専攻科目	200点	10：20～12：20 (120分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	150点	10：20～11：50 (90分)	与えられた短い英文に関する日本語による小論文（辞書使用不可）
面接	—	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語小論文	50点	9：00～10：00 (60分)	辞書使用不可
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に「英米文学」、「英語学（英語教育学を含む）」よりいずれか1科目を選択（辞書使用不可）
面接	—	13：30～	研究計画書に基づく口頭試問

(2) 比較日本文化専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	9：00～10：00 (60分)	出願時に「英語」、「フランス語」、「中国語」、「朝鮮語」の中から第一言語を除く1科目を選択 辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	出願時に別表②「比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表」（次頁）から1分野を選択
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10：20～11：50 (90分)	出願時に別表②「比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表」から1分野を選択
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10：20～11：50 (90分)	日本語による小論文 出願時に別表②「比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表」から1分野を選択
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

(別表②) 比較日本文化専攻 博士後期課程 専攻分野表

分 野
欧 米 文 化
日 本 文 化
ア ジ ア 文 化
比 較 史 学
比 較 文 学
日 本 語 教 育 学

(3) 社会学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9：00～10：00 (60分)	英語辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
専攻科目	150点	10：20～11：50 (90分)	研究課題に関する問題
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13：30～	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	英語辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
小論文	100点	10:20~11:50 (90分)	研究課題に関する問題
面接	—	13:30~	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	200点	10:20~11:50 (90分)	専門分野に関する日本語による小論文
面接	—	13:30~	修士学位論文及び研究計画書に基づく口頭試問

7. 試験場 (P.106、107参照)

関東学院大学 金沢八景キャンパス
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

◎ 文学研究科授業科目表

【博士前期課程】

英語英米文学専攻

(2023年度実績)

分類	科目名	単位数	配当年次	担当者	研究指導		
選 択 必 修 科 目	A 群	英文学研究Ⅰ－１（英国小説）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英文学研究Ⅰ－２（英国小説）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英文学研究Ⅱ－１（中世英文学）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英文学研究Ⅱ－２（中世英文学）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英文学研究Ⅲ－１（イギリス詩）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英文学研究Ⅲ－２（イギリス詩）	2	1・2	(2023年度休講)		
		米文学研究Ⅰ－１（アメリカ詩）	2	1・2	教授 アランボツフォード	○	
		米文学研究Ⅰ－２（アメリカ詩）	2	1・2	教授 アランボツフォード	○	
		米文学研究Ⅱ－１（アメリカ小説）	2	1・2	(2023年度休講)		
		米文学研究Ⅱ－２（アメリカ小説）	2	1・2	(2023年度休講)		
	B 群	英語学研究Ⅰ－１（英語教育）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英語学研究Ⅰ－２（英語教育）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英語学研究Ⅱ－１（語用論・認知言語学）	2	1・2	教授 草山 学	○	
		英語学研究Ⅱ－２（語用論・認知言語学）	2	1・2	教授 草山 学	○	
		英語学研究Ⅲ－１（音声学）	2	1・2	教授 平坂 文男	○	
		英語学研究Ⅲ－２（音声学）	2	1・2	教授 平坂 文男	○	
		英語学研究Ⅳ－１（意味論・統語論）	2	1・2	(2023年度休講)		
		英語学研究Ⅳ－２（意味論・統語論）	2	1・2	(2023年度休講)		
		B 群	英文学演習Ⅰ－１（英国小説）	2	1・2	教授 松村 聡子	○
			英文学演習Ⅰ－２（英国小説）	2	1・2	教授 松村 聡子	○
英文学演習Ⅱ－１（中世英文学）	2		1・2	(2023年度休講)			
英文学演習Ⅱ－２（中世英文学）	2		1・2	(2023年度休講)			
英文学演習Ⅲ－１（イギリス詩）	2		1・2	(2023年度休講)			
英文学演習Ⅲ－２（イギリス詩）	2		1・2	(2023年度休講)			
米文学演習Ⅰ－１（アメリカ詩）	2		1・2	(2023年度休講)			
米文学演習Ⅰ－２（アメリカ詩）	2		1・2	(2023年度休講)			
米文学演習Ⅱ－１（アメリカ小説）	2		1・2	教授 入江 識元	○		
米文学演習Ⅱ－２（アメリカ小説）	2		1・2	教授 入江 識元	○		
英語学演習Ⅰ－１（英語教育）	2		1・2	教授 吉田 広毅	○		
英語学演習Ⅰ－２（英語教育）	2		1・2	教授 吉田 広毅	○		
英語学演習Ⅱ－１（語用論・認知言語学）	2		1・2	(2023年度休講)			
英語学演習Ⅱ－２（語用論・認知言語学）	2		1・2	(2023年度休講)			
英語学演習Ⅲ－１（意味論・統語論）	2	1・2	教授 大橋 一人	○			
英語学演習Ⅲ－２（意味論・統語論）	2	1・2	教授 大橋 一人	○			

分類	科目名	単位数	配当年次	担当者	研究指導	
選択必修科目	C群	英国戯曲特論Ⅰ	2	1・2	教授 福圓容子	○
		英国戯曲特論Ⅱ	2	1・2	教授 福圓容子	○
		英米批評文学特論Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
		英米批評文学特論Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
		アメリカ詩特論Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
		アメリカ詩特論Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
		現代アメリカ文学特論	2	1・2	(2023年度休講)	
		イギリス小説特論Ⅰ	2	1・2	教授 松村聡子	○
		イギリス小説特論Ⅱ	2	1・2	教授 萩原美津	○
		アメリカ小説特論	2	1・2	教授 入江識元	○
		言語文化論	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会言語学	2	1・2	(2023年度休講)	
		英語教育特論Ⅰ	2	1・2	講師 満尾貞行	
		英語教育特論Ⅱ	2	1・2	講師 満尾貞行	
		英文法特論	2	1・2	教授 大橋一人	○
		英語意味論特論	2	1・2	教授 草山学	○
		英語教育学特論Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
		英語教育学特論Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
English Communication	2	1・2	講師 ジョフブラッドリー			
Thesis Writing	2	2	教授 ジョセフT.マキーム			

【修了要件】

- ア 入学の際、3専攻分野「英文学、米文学、英語学（英語教育学を含む）」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【博士前期課程】

比較日本文化専攻

(2023年度実績)

分類	科目名	専攻分野	単位	配当年次	担当者	研究指導	
選択 必修 科目	A 群	比較日本文化研究Ⅰ－１（思想）	思想	2	1・2	教授 高井 啓介	○
		比較日本文化研究Ⅰ－２（思想）	思想	2	1・2	教授 高井 啓介	○
		比較日本文化研究Ⅱ－１（文化史）	文化史	2	1・2	(2023年度休講)	
		比較日本文化研究Ⅱ－２（文化史）	文化史	2	1・2	(2023年度休講)	
		比較日本文化研究Ⅲ－１（欧米史）	欧米史	2	1・2	教授 君塚 直隆	○
		比較日本文化研究Ⅲ－２（欧米史）	欧米史	2	1・2	教授 君塚 直隆	○
		日本文化研究Ⅰ－１（文学）	文学	2	1・2	(2023年度休講)	
		日本文化研究Ⅰ－２（文学）	文学	2	1・2	(2023年度休講)	
		日本文化研究Ⅱ－１（近世）	文化論	2	1・2	教授 井上 和人	○
		日本文化研究Ⅱ－２（近世）	文化論	2	1・2	教授 井上 和人	○
	日本語教育研究Ⅰ－１	日本語	2	1・2	(2023年度休講)		
	日本語教育研究Ⅰ－２	日本語	2	1・2	(2023年度休講)		
	日本語教育研究Ⅱ－１	日本語	2	1・2	教授 伊藤 健人	○	
	日本語教育研究Ⅱ－２	日本語	2	1・2	教授 伊藤 健人	○	
	日本周辺文化研究Ⅰ－１（中国）	中国	2	1・2	(2023年度休講)		
	日本周辺文化研究Ⅰ－２（中国）	中国	2	1・2	(2023年度休講)		
	日本周辺文化研究Ⅱ－１（朝鮮）	朝鮮	2	1・2	(2023年度休講)		
	日本周辺文化研究Ⅱ－２（朝鮮）	朝鮮	2	1・2	(2023年度休講)		
	B 群	比較日本文化演習Ⅰ－１（思想）	思想	2	1・2	(2023年度休講)	
		比較日本文化演習Ⅰ－２（思想）	思想	2	1・2	(2023年度休講)	
比較日本文化演習Ⅱ－１（文化史）		文化史	2	1・2	准教授 西尾 知己	○	
比較日本文化演習Ⅱ－２（文化史）		文化史	2	1・2	准教授 西尾 知己	○	
比較日本文化演習Ⅲ－１（欧米史）		欧米史	2	1・2	(2023年度休講)		
比較日本文化演習Ⅲ－２（欧米史）		欧米史	2	1・2	(2023年度休講)		
日本文化演習Ⅰ－１（文学）		文学	2	1・2	教授 富岡 幸一郎	○	
日本文化演習Ⅰ－２（文学）		文学	2	1・2	教授 富岡 幸一郎	○	
日本文化演習Ⅱ－１（近世）		文化論	2	1・2	(2023年度休講)		
日本文化演習Ⅱ－２（近世）		文化論	2	1・2	(2023年度休講)		
日本語教育演習Ⅰ－１	日本語	2	1・2	(2023年度休講)			
日本語教育演習Ⅰ－２	日本語	2	1・2	(2023年度休講)			
日本語教育演習Ⅱ－１	日本語	2	1・2	(2023年度休講)			
日本語教育演習Ⅱ－２	日本語	2	1・2	(2023年度休講)			
日本周辺文化演習Ⅰ－１（中国）	中国	2	1・2	教授 鄧 捷	○		
日本周辺文化演習Ⅰ－２（中国）	中国	2	1・2	教授 鄧 捷	○		
日本周辺文化演習Ⅱ－１（朝鮮）	朝鮮	2	1・2	(2023年度休講)			
日本周辺文化演習Ⅱ－２（朝鮮）	朝鮮	2	1・2	(2023年度休講)			

(※) 2023. 8. 18 専攻分野欄 追加

分類	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
選 択 必 修 科 目	比較言語特講Ⅰ	2	1・2	教授 草山 学	○ ○
	比較言語特講Ⅱ	2	1・2	教授 草山 学	
	比較フランス文化特講Ⅰ	2	1・2	准教授 八幡 恵一	
	比較フランス文化特講Ⅱ	2	1・2	准教授 八幡 恵一	
	文化人類学特講Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
	文化人類学特講Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
	比較文化特講(外交史・横浜文化論)Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
	比較文化特講(外交史・横浜文化論)Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
	日本語学特講Ⅰ(対照言語学)	2	1・2	教授 伊藤 健人	
	日本語学特講Ⅱ(社会言語学)	2	1・2	教授 伊藤 健人	
	日本古典文化特講Ⅰ	2	1・2	講師 緑川 真知子	
	日本古典文化特講Ⅱ	2	1・2	講師 緑川 真知子	
	日本語学特講Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
	日本語学特講Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
	応用言語学特講Ⅰ	2	1・2	准教授 楊 廷延	
	応用言語学特講Ⅱ	2	1・2	准教授 楊 廷延	
	アジア社会文化論特講	2	1・2	(2023年度休講)	
	アジア政治文化論特講Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
	アジア政治文化論特講Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
	国際交流論特講Ⅰ	2	1・2	准教授 柏崎 梢	
	国際交流論特講Ⅱ	2	1・2	准教授 柏崎 梢	
	国際社会システム論特講Ⅰ	2	1・2	(2023年度休講)	
	国際社会システム論特講Ⅱ	2	1・2	(2023年度休講)	
	国語学論特講Ⅰ	2	1・2	講師 伊東 光浩	
国語学論特講Ⅱ	2	1・2	講師 伊東 光浩		
比較アメリカ文化特講Ⅰ	2	1・2	准教授 小滝 陽		
比較アメリカ文化特講Ⅱ	2	1・2	准教授 小滝 陽		
中国古代文化特講Ⅰ	2	1・2	准教授 菅野 恵美		
中国古代文化特講Ⅱ	2	1・2	准教授 菅野 恵美		

【修了要件】

- ア 入学の際、8専攻分野「文化論、文化史、欧米史、文学、思想、中国、朝鮮、日本語」より1専攻を選択すること。 (※) 2023.7.26下線部修正
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【博士前期課程】

社会学専攻

(2023年度実績)

分類	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導	
選 択 必 修 科 目	A 群	社会学研究Ⅰ-1(社会学史)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅰ-2(社会学史)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅱ-1(産業労働)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅱ-2(産業労働)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅲ-1(地域社会計画)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅲ-2(地域社会計画)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅳ-1(社会心理)	2	1・2	教授 新井 克 弥	○
		社会学研究Ⅳ-2(社会心理)	2	1・2	教授 新井 克 弥	○
		社会学研究Ⅴ-1(環境社会学)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅴ-2(環境社会学)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学研究Ⅵ-1(都市と地域)	2	1・2	教授 小山 弘 美	○
		社会学研究Ⅵ-2(都市と地域)	2	1・2	教授 小山 弘 美	○
		社会福祉学研究Ⅰ-1(高齢者福祉)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会福祉学研究Ⅰ-2(高齢者福祉)	2	1・2	(2023年度休講)	
	社会福祉学研究Ⅱ-1(障害学)	2	1・2	(2023年度休講)		
	社会福祉学研究Ⅱ-2(障害学)	2	1・2	(2023年度休講)		
	社会福祉学研究Ⅲ-1(地域福祉)	2	1・2	(2023年度休講)		
	社会福祉学研究Ⅲ-2(地域福祉)	2	1・2	(2023年度休講)		
	社会福祉学研究Ⅳ-1(児童家庭福祉)	2	1・2	教授 澁谷 昌 史	○	
	社会福祉学研究Ⅳ-2(児童家庭福祉)	2	1・2	教授 澁谷 昌 史	○	
	B 群	社会学演習Ⅰ-1(社会学史)	2	1・2	教授 大澤 善 信	○
		社会学演習Ⅰ-2(社会学史)	2	1・2	教授 大澤 善 信	○
		社会学演習Ⅱ-1(産業労働)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学演習Ⅱ-2(産業労働)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学演習Ⅲ-1(地域社会計画)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学演習Ⅲ-2(地域社会計画)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学演習Ⅳ-1(社会心理)	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会学演習Ⅳ-2(社会心理)	2	1・2	(2023年度休講)	
社会学演習Ⅴ-1(都市と地域)		2	1・2	(2023年度休講)		
社会学演習Ⅴ-2(都市と地域)		2	1・2	(2023年度休講)		
社会学演習Ⅵ-1(環境社会学)		2	1・2	教授 湯 浅 陽 一	○	
社会学演習Ⅵ-2(環境社会学)		2	1・2	教授 湯 浅 陽 一	○	
社会福祉学演習Ⅰ-1(高齢者福祉)		2	1・2	(2023年度休講)		
社会福祉学演習Ⅰ-2(高齢者福祉)		2	1・2	(2023年度休講)		
社会福祉学演習Ⅱ-1(障害学)	2	1・2	教授 麦 倉 泰 子	○		
社会福祉学演習Ⅱ-2(障害学)	2	1・2	教授 麦 倉 泰 子	○		
社会福祉学演習Ⅲ-1(地域福祉)	2	1・2	教授 小 沼 春 日	○		
社会福祉学演習Ⅲ-2(地域福祉)	2	1・2	教授 小 沼 春 日	○		
社会福祉学演習Ⅳ-1(児童家庭福祉)	2	1・2	(2023年度休講)			
社会福祉学演習Ⅳ-2(児童家庭福祉)	2	1・2	(2023年度休講)			

分類	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導	
選択 必修 科目	C 群	社会学特講Ⅰ（外書講読）	2	1・2	准教授 上野 淳子	○ ○
		社会学特講Ⅱ（原典講読）	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会福祉学特講Ⅰ（ソーシャルワーク）	2	1・2	准教授 石川 時子	
		社会福祉学特講Ⅱ（外書講読）	2	1・2	教授 西村 貴直	
		社会福祉学特講Ⅲ（児童家庭福祉）	2	1・2	(2023年度休講)	
		社会福祉学特講Ⅳ（NPO論）	2	1・2	客員教授 山田 秀昭	
		社会人類学特講	2	1・2	講師 岩淵 聡文	
		図書館情報学特講	2	1・2	教授 中村 克明	
		公共図書館論	2	1・2	教授 中村 克明	
		学校図書館論	2	1・2	(2023年度休講)	
		図書館情報メディア論	2	1・2	教授 千 錫烈	
		教育学特講	2	1・2	教授 久保田 英助	
		教育実践学特講	2	1・2	教授 久保田 英助	
産業・組織心理学特講	2	1・2	教授 細田 聡			

【修了要件】

- ア 入学の際、2専攻分野「社会学、社会福祉学」より1専攻を選択すること。
- イ 各専攻分野とも、A群研究科目、B群演習科目、C群特論科目の各群より、それぞれ4科目8単位を選択必修とし、合計16科目32単位以上を修得すること。なお、A群及びB群の科目については、原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修すること。
- ウ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【博士後期課程】

英語英米文学専攻

(2023年度実績)

科 目 名		単 位	配 当 年 次	担 当 者	研 究 指 導
A 群	英米文学特殊研究Ⅰ－1 (英国小説)	2	1-3	教授 松村 聡子	○
	英米文学特殊研究Ⅰ－2 (英国小説)	2	1-3	教授 松村 聡子	○
	英米文学特殊研究Ⅱ－1 (イギリス詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅱ－2 (イギリス詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅲ－1 (中世英文学)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅲ－2 (中世英文学)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅳ－1 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅳ－2 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅴ－1 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊研究Ⅴ－2 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅰ－1 (英語学・英語史)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅰ－2 (英語学・英語史)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅱ－1 (音声学)	2	1-3	教授 平坂 文男	○
	英語学特殊研究Ⅱ－2 (音声学)	2	1-3	教授 平坂 文男	○
	英語学特殊研究Ⅲ－1 (英語学・英語教育)	2	1-3	教授 吉田 広毅	○
	英語学特殊研究Ⅲ－2 (英語学・英語教育)	2	1-3	教授 吉田 広毅	○
	英語学特殊研究Ⅳ－1 (語用論・認知言語学)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英語学特殊研究Ⅳ－2 (語用論・認知言語学)	2	1-3	(2023年度休講)	
B 群	英米文学特殊講義Ⅰ－1 (英国小説)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅰ－2 (英国小説)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅱ－1 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅱ－2 (20世紀アメリカ詩)	2	1-3	(2023年度休講)	
	英米文学特殊講義Ⅲ－1 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	教授 アラン ボツフォード	
	英米文学特殊講義Ⅲ－2 (19世紀アメリカ詩)	2	1-3	教授 アラン ボツフォード	
	英米文学特殊講義Ⅳ－1 (20世紀アメリカ小説)	2	1-3	教授 入江 識元	
	英米文学特殊講義Ⅳ－2 (20世紀アメリカ小説)	2	1-3	教授 入江 識元	
	英語学特殊講義Ⅰ－1 (意味論・統語論)	2	1-3	教授 大橋 一人	
	英語学特殊講義Ⅰ－2 (意味論・統語論)	2	1-3	教授 大橋 一人	
	英語学特殊講義Ⅱ－1 (英語学・英語教育)	2	1-3	教授 吉田 広毅	○
	英語学特殊講義Ⅱ－2 (英語学・英語教育)	2	1-3	教授 吉田 広毅	○
	英語学特殊講義Ⅲ－1 (語用論・認知言語学)	2	1-3	教授 草山 学	○
	英語学特殊講義Ⅲ－2 (語用論・認知言語学)	2	1-3	教授 草山 学	○
Dissertation Writing	2	1-3	教授 ジョセフ T.マキーム		

比較日本文化専攻

(2023年度実績)

科 目 名		単 位	配 当 年 次	担 当 者	研 究 指 導
A 群	比較日本文化特殊研究Ⅰ－１（比較文化）	2	1-3	教 授 富 岡 幸 一 郎	○
	比較日本文化特殊研究Ⅰ－２（比較文化）	2	1-3	教 授 富 岡 幸 一 郎	○
	比較日本文化特殊研究Ⅱ－１（文化史）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅱ－２（文化史）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅲ－１（文学）	2	1-3	教 授 井 上 和 人	○
	比較日本文化特殊研究Ⅲ－２（文学）	2	1-3	教 授 井 上 和 人	○
	比較日本文化特殊研究Ⅳ－１（東アジア）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅳ－２（東アジア）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊研究Ⅴ－１（キリスト教史）	2	1-3	教 授 高 井 啓 介	○
	比較日本文化特殊研究Ⅴ－２（キリスト教史）	2	1-3	教 授 高 井 啓 介	○
	比較日本文化特殊研究Ⅵ－１（欧米文化）	2	1-3	教 授 君 塚 直 隆	○
	比較日本文化特殊研究Ⅵ－２（欧米文化）	2	1-3	教 授 君 塚 直 隆	○
B 群	比較日本文化特殊講義Ⅰ－１（東アジア）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅰ－２（東アジア）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅱ（アジア社会文化論）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅲ－１（日本近世文化）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅲ－２（日本近世文化）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅳ－１（日中比較文学）	2	1-3	教 授 鄧 捷	
	比較日本文化特殊講義Ⅳ－２（日中比較文学）	2	1-3	教 授 鄧 捷	
	比較日本文化特殊講義Ⅴ－１（日本語学）	2	1-3	教 授 伊 藤 健 人	
	比較日本文化特殊講義Ⅴ－２（日本語学）	2	1-3	教 授 伊 藤 健 人	
	比較日本文化特殊講義Ⅵ－１（キリスト教史）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅵ－２（キリスト教史）	2	1-3	(2023年度休講)	
	比較日本文化特殊講義Ⅶ－１（文化史）	2	1-3	准教授 西 尾 知 己	
比較日本文化特殊講義Ⅶ－２（文化史）	2	1-3	准教授 西 尾 知 己		

社会学専攻

(2023年度実績)

科目名		単位	配当年次	担当者	研究指導
A 群	社会学特殊研究Ⅰ-1(社会学史)	2	1-3	教授 大澤 善信	○
	社会学特殊研究Ⅰ-2(社会学史)	2	1-3	教授 大澤 善信	○
	社会学特殊研究Ⅱ-1(地域社会計画)	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会学特殊研究Ⅱ-2(地域社会計画)	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会学特殊研究Ⅲ-1(社会心理)	2	1-3	教授 新井 克弥	○
	社会学特殊研究Ⅲ-2(社会心理)	2	1-3	教授 新井 克弥	○
	社会学特殊研究Ⅳ-1(環境社会学)	2	1-3	教授 湯浅 陽一	○
	社会学特殊研究Ⅳ-2(環境社会学)	2	1-3	教授 湯浅 陽一	○
	社会学特殊研究Ⅴ-1	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会学特殊研究Ⅴ-2	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会福祉学特殊研究Ⅰ-1(高齢者福祉)	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会福祉学特殊研究Ⅰ-2(高齢者福祉)	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会福祉学特殊研究Ⅱ-1(障害学)	2	1-3	教授 麦倉 泰子	○
	社会福祉学特殊研究Ⅱ-2(障害学)	2	1-3	教授 麦倉 泰子	○
	社会福祉学特殊研究Ⅲ-1(地域福祉)	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会福祉学特殊研究Ⅲ-2(地域福祉)	2	1-3	(2023年度休講)	
B 群	社会学特殊講義Ⅰ-1(都市と地域)	2	1-3	教授 小山 弘美	
	社会学特殊講義Ⅰ-2(都市と地域)	2	1-3	教授 小山 弘美	
	図書館情報学特殊講義1	2	1-3	教授 中村 克明	
	図書館情報学特殊講義2	2	1-3	教授 中村 克明	
	図書館情報メディア特殊講義1	2	1-3	教授 千 錫烈	
	図書館情報メディア特殊講義2	2	1-3	(2023年度休講)	
	教育学特殊講義1	2	1-3	(2023年度休講)	
	教育学特殊講義2	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会福祉学特殊講義Ⅰ(高齢者福祉)	2	1-3	(2023年度休講)	
	社会福祉学特殊講義Ⅱ-1(児童家庭福祉)	2	1-3	教授 澁谷 昌史	
	社会福祉学特殊講義Ⅱ-2(児童家庭福祉)	2	1-3	教授 澁谷 昌史	
	社会福祉学特殊講義Ⅲ-1(地域福祉)	2	1-3	教授 小沼 春日	
	社会福祉学特殊講義Ⅲ-2(地域福祉)	2	1-3	教授 小沼 春日	

【修了要件】

- ① 授業科目の中から各年次最低2科目4単位(3年間で計12単位)以上を履修すること。
なお、履修科目は原則として同名の1、2を春学期及び秋学期で連続して履修するものとする。
- ② 授業科目の履修のほか、学位論文作成のため、指導教授を定め各自の研究主題に応じて指導を受けること。
- ③ 博士の学位を得ようとする者は、3年以上在学し、各専攻分野ともA群研究科目から6科目12単位以上、B群講義科目から2科目4単位以上を修得し、かつ研究上必要な指導を受けた上、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格しなければならない。
なお、3年次末に博士論文を提出しないで単位修得満期退学をしようとする者は、博士予備論文を提出しなければならない。

1. 募集人数

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
経済学研究科	経済学専攻	10	5
	経営学専攻	10	5

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験（博士前期課程のみ）で募集します。

2. 出願資格

【博士前期課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの要件を満たす者

- ① 会社、官庁、教育機関、研究機関等に在職していること
- ② 当該専攻と関連する職種に従事しているか、または従事したことがあること
- ③ 本研究科において、大学卒業後3年以上経過しかつ②に準ずると認められた者
- ④ 医療機関等において正看護師として5年以上の実務経験及び実践的な知見を有し、かつ、当該年度4月1日現在、満年齢が28歳に達する者

※出願資格④に該当する者は、出願に際し、個別出願資格認定を受けること

(4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学経済学研究科博士前期課程を修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、以下のいずれかの要件を満たす者

- ① 会社、官庁、教育機関、研究機関等に在職していること
- ② 当該専攻と関連する職種に従事しているか、または従事したことがあること

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議

博士前期課程の外国人留学生入学試験に出願する者及び博士後期課程に出願する者は、出願に先立ち、志望する研究分野の指導教授と事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、「履歴票」(本要項巻末の用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出)、博士後期課程を希望する者は加えて、修士学位論文(写し1部)、または修士学位論文のない者はそれに代わる20,000字程度の論文(本人署名の学会投稿印刷論文でも可)を以下の申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。ただし、本研究科博士前期課程修了者(見込み含む)については、事前協議を行いません。

なお、事前協議終了時に内諾書の交付を受けてください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月5日(水)	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	12月4日(月)		

4. 出 願 書 類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一般入試	学内推薦入試	社会人入試	外国人留学生入試
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○	○
2	※履 歴 票		○	○	○	○
3	写 真 (2 枚)	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm(カラー) 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○
4	成 績 証 明 書	注1、3]	○	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位(称号)授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻 科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授 与申請書 専修学校の専門課程修了(見込み)の者は、修了(見 込み)証明書及び高度専門士の称号を取得するこ とを証明する書類	○	○	○	○
6	※研 究 計 画 書	2,000字程度、修了後の研究計画を含む 本要項巻末の表紙をつけて提出	○	○	○	○
7	※職 務 経 験 書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	—	○	—
8	資 格 取 得 証 明 書	一般入学試験のうち「英語」の試験が免除となる 者のみ提出(写し可)	○ (の 談 み 当 者)	—	—	—
9	内 諾 書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの	—	—	—	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業(見込み)者は、学位授与(見込み)証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学(大学院・法科大学院含む)を卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 一般入学試験の志願者のうち、TOEFL ITP550点以上(TOEFL iBT79点以上)またはTOEIC(L&R)730点以上で英語の試験が免除となる者は、出願時に資格取得証明書(写し可)を提出してください。

注5] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

【博士後期課程】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一般入試	学内推薦入試	社会人入試
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○
2	※履 歴 票		○	○	○
3	写 真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○
4	修士課程(博士前期課程) 成績証明書	注1、2)	○	○	○
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2)	○	○	○
6	修士学位論文または それに代わる20,000字 程 度 の 論 文	写し1部及び要旨3部 本人署名の学会投稿印刷論文でも可	○	○	○
7	※研 究 計 画 書	2,000字程度、修了後の研究計画を含む 本要項巻末の表紙をつけて提出	○	○	○
8	※職 務 経 験 書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	—	○
9	内 諾 書	志望する研究分野の希望指導教授が作成したもの 本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）は不要	○	—	○

注1) 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2) 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3) 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

6. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程】

(1) 経済学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	「経済理論・経済学史」、「近代経済学」、「応用経済」、「経済史・世界経済」の4分野から出願時に1分野を選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※ TOEFL ITP550点以上（TOEFL iBT79点以上）または TOEIC（L&R）730点以上の者は英語の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

大学または大学院（法科大学院を含む）を卒業（修了）した者、及び2024年3月卒業（修了）見込みの者以外は専門科目の試験も受験してください。

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	「経済理論・経済学史」、「近代経済学」、「応用経済」、「経済史・世界経済」の4分野から出願時に1分野を選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	「経済理論・経済学史」、「近代経済学」、「応用経済」、「経済史・世界経済」の4分野から出願時に1分野を選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
外国語	100点	11:20~12:20 (60分)	「英語」、「日本語」から1カ国語を出願時に選択（母国語以外から選択） 辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

(2) 経営学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	「経営学」、「経営情報」、「流通・マーケティング」、「会計学」の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
英 語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※TOEFL ITP550点以上(TOEFL iBT79点以上)またはTOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。
面 接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
面 接	—	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	「経営学」、「経営情報」、「流通・マーケティング」、「会計学」の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。 ※本学の学部または大学院（法科大学院を含む）を卒業（修了）した者、及び2024年3月卒業（修了）見込みの者は、専門科目の試験を免除する。
面 接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

④ 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	「経営学」、「経営情報」、「流通・マーケティング」、「会計学」の4分野から専攻する分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
外国語	100点	11:20~12:20 (60分)	「英語」、「日本語」から1カ国語を出願時に選択（母国語以外から選択） 辞書使用可（ただし、電子辞書を除く）
面 接	100点	13:00~	研究計画書に基づく口頭試問

【博士後期課程】

(1) 経済学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
論文 (2科目)	各100点 計200点	9:30~11:00 (90分)	「経済理論・経済学史」、「近代経済学」、「応用経済」、「経済史・世界経済」の4分野から希望指導教授の属する1分野を含む2分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験(1月募集のみ)

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可(ただし、電子辞書を除く) ※本学のいずれかの学部を卒業した者で、本学または他大学大学院博士前期課程を修了し修士の学位を有する者及び2024年3月までに取得見込みの者は、英語の試験を免除する。
面接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

(2) 経営学専攻

① 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
論文 (2科目)	各100点 計200点	9:30~11:00 (90分)	「経営学」、「経営情報」、「流通・マーケティング」、「会計学」の4分野から希望指導教授の属する1分野を含む2分野を出願時に選択。ただし、共通分野所属の教員を希望指導教授とする場合は、出願に先立ちアドミッションズセンターに問い合わせること。
英語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

② 学内推薦入学試験(1月募集のみ)

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

③ 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
英 語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書使用可(ただし、電子辞書を除く) ※本学のいずれかの学部を卒業した者で、本学または 他大学大学院博士前期課程を修了し修士の学位を有 する者及び2024年3月までに取得見込みの者は、英 語の試験を免除する。
面 接	100点	13:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

7. 試 験 場 (P.106、107参照)

[経済学専攻・経営学専攻]

関東学院大学 金沢八景キャンパス

〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

◎ 経済学研究科授業科目表

【経済学専攻 博士前期課程】

A 群 (講義科目)

(2023年度実績)

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・経済学史	特殊講義	経済理論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	○
	特殊講義	経済学史特殊講義	2	1-2	教授 石井 稔	
近代経済学	特論	再生産・蓄積論	2	1-2	(2023年度休講)	○
		古典派資本蓄積論	2	1-2	教授 石井 稔	
	特殊講義	マクロ経済学特殊講義	2	1-2	准教授 吟谷 泰裕	○
		ミクロ経済学特殊講義	2	1-2	准教授 上代 雄介	○
		理論経済学特殊講義	2	1-2	准教授 野口 雄一	○
		現代経済特殊講義	2	1-2	教授 中泉 拓也	○
		統計学特殊講義	2	1-2	准教授 平野 敏弘	
		情報処理論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		情報経済論特殊講義	2	1-2	教授 野中 康生	
		計量経済学特殊講義	2	1-2	准教授 中村 亮介	
	特論	ゲームの理論研究	2	1-2	准教授 野口 雄一	○
		情報の意思決定	2	1-2	(2023年度休講)	
		契約の経済理論	2	1-2	教授 中泉 拓也	○
		経済動学の理論	2	1-2	教授 野中 康生	
動学的一般均衡理論		2	1-2	(2023年度休講)		
協力ゲームの理論		2	1-2	(2023年度休講)		
応用経済	特殊講義	経済政策論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	○
		財政理論特殊講義	2	1-2	教授 島澤 諭	
		地方財政特殊講義	2	1-2	准教授 豊田 奈穂	
		金融論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		国際金融論特殊講義	2	1-2	教授 黒川 洋行	
		労働経済論特殊講義	2	1-2	教授 吉田 千鶴	
	特論	社会保障論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		銀行行動論	2	1-2	(2023年度休講)	
		医療経済学	2	1-2	非常勤講師 金城 悠貴	
		証券投資論	2	1-2	(2023年度休講)	
経済史・世界経済	特殊講義	家族と人口の経済学	2	1-2	(2023年度休講)	○
		貧困と不平等の経済学	2	1-2	(2023年度休講)	
		経済史特殊講義	2	1-2	教授 柏倉 知秀	
		日本経済史特殊講義	2	1-2	教授 名武 なつ紀	
		アメリカ経済論特殊講義	2	1-2	教授 新岡 智	
	特論	国際経済学特殊講義	2	1-2	教授 山本 勝造	○
		開発経済学特殊講義	2	1-2	准教授 石坂 貴美	
		グローバリゼーションの経済学	2	1-2	教授 新岡 智	○
	特論	日本都市経済史	2	1-2	(2023年度休講)	
		西洋都市経済史	2	1-2	(2023年度休講)	
		国際政治経済の数理分析	2	1-2	教授 山本 勝造	○

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	特殊講義	現代政治論特殊講義	2	1-2	教授 林 博史 ^{**}	○
		前近代史特殊講義	2	1-2	教授 河内 春人	○
		ジェンダー論特殊講義	2	1-2	教授 細谷 実己	○
		メディア文化論特殊講義	2	1-2	教授 伊藤 明己	○
		自然地理学特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		青少年問題の社会学特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
	特論	環境学特殊講義	2	1-2	准教授 田林 雄	
		金融技術論	2	1-2	(2023年度休講)	
		租税	2	1-2	非常勤講師 菅 沼 哲 矢	
		所得税法	2	1-2	非常勤講師 菅 沼 哲 矢	
		法人税法	2	1-2	非常勤講師 石 渡 晃 子	
		国際政治の諸問題	2	1-2	教授 林 博史 ^{**}	○
		前近代の交易と東アジア	2	1-2	(2023年度休講)	
		ジェンダーと経済	2	1-2	(2023年度休講)	
		メディアと社会思想	2	1-2	(2023年度休講)	
		地理情報科学特論	2	1-2	(2023年度休講)	
		現代日本の若者と文化	2	1-2	(2023年度休講)	
		地球環境学特論	2	1-2	(2023年度休講)	

B 群 (演習科目)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・経済学史	演習Ⅰ (経済理論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (経済理論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (経済学史)	4	1	教授 石井 穰	○
	演習Ⅱ (経済学史)	4	2	教授 石井 穰	○
近代経済学	演習Ⅰ (マクロ経済学)	4	1	准教授 吟谷 泰裕	○
	演習Ⅱ (マクロ経済学)	4	2	准教授 吟谷 泰裕	○
	演習Ⅰ (現代経済)	4	1	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅱ (現代経済)	4	2	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅰ (情報処理論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (情報処理論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (理論経済学)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (理論経済学)	4	2	(2023年度休講)	
応用経済	演習Ⅰ (経済政策論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (経済政策論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (財政理論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (財政理論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (地方財政)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (地方財政)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (金融論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (金融論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (国際金融論)	4	1	教授 黒川 洋行	○
	演習Ⅱ (国際金融論)	4	2	教授 黒川 洋行	○
	演習Ⅰ (労働経済論)	4	1	教授 吉田 千鶴	○
	演習Ⅱ (労働経済論)	4	2	教授 吉田 千鶴	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済史・世界経済	演習Ⅰ（日本経済史）	4	1	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅱ（日本経済史）	4	2	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅰ（アメリカ経済論）	4	1	教授 新岡 智	○
	演習Ⅱ（アメリカ経済論）	4	2	教授 新岡 智	○
	演習Ⅰ（国際経済学）	4	1	教授 山本 勝造	○
	演習Ⅱ（国際経済学）	4	2	教授 山本 勝造	○
共通	演習Ⅰ（現代政治論）	4	1	教授 林 博史 ^{**}	○
	演習Ⅱ（現代政治論）	4	2	教授 林 博史 ^{**}	○
	演習Ⅰ（メディア文化論）	4	1	教授 伊藤 明己	○
	演習Ⅱ（メディア文化論）	4	2	教授 伊藤 明己	○
	演習Ⅰ（税法）	4	1	非常勤講師 長島 弘	○
	演習Ⅱ（税法）	4	2	非常勤講師 長島 弘	○
	演習Ⅰ（前近代史）	4	1	教授 河内 春人	○
	演習Ⅱ（前近代史）	4	2	教授 河内 春人	○

経済学専攻履修方法

- (1) A群（講義科目）
 - ① 専攻する分野の講義科目を2科目4単位必修。
 - ② ①の他に18単位以上。（B群②の要件で修得した4単位及びC群の要件で修得した8単位を含む）
- (2) B群（演習科目）
 - ① 指導教授の演習Ⅰ・Ⅱ（各年次4単位）計8単位必修。
 - ② ①の他に、分野を問わず演習Ⅰの中から1科目4単位を履修することができる。
その修得した単位はA群②の単位とみなすことができる。
- (3) C群（他専攻科目、法学研究科開講会計人材育成科目、他研究科科目及び他大学院科目）
以下の①から④までの科目を履修して修得した単位は、合わせて8単位までA群②の単位とみなすことができる。ただし、②③の場合には、指導教授並びに当該科目担当教員、④の場合には指導教授並びに当該大学の事前承認を得なければならない。
 - ① 他専攻講義科目から4単位。
 - ② 法学研究科開講の「会計人材育成科目」から4単位。
 - ③ ②を除く本学の他研究科開講科目で、専攻する分野の科目と関連する講義科目から4単位。
 - ④ 神奈川県内の大学間における学術交流協定大学の大学院で特別聴講学生として履修した単位。

※2024年3月定年退職予定

【経営学専攻 博士前期課程】

A 群 (講義科目)

(2023年度実績)

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	特殊講義	経営史特殊講義	2	1-2	教授 四宮正親	○
		経営学特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		経営管理論特殊講義	2	1-2	准教授 松下将章	
		現代企業論特殊講義	2	1-2	教授 小山巖也	○
		国際経営論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		経営組織論特殊講義	2	1-2	准教授 吉村大吾	○
		経営財務論特殊講義	2	1-2	教授 辻聖二	○
		経営戦略論特殊講義	2	1-2	准教授 真保智行	
		現代ツーリズム特殊講義	2	1-2	教授 才原清一郎	○
	スポーツ・マネジメント論特殊講義	2	1-2	准教授 奈良堂史	○	
	特論	自動車産業史	2	1-2	(2023年度休講)	
		工業経営論	2	1-2	(2023年度休講)	
		非営利組織の経営	2	1-2	(2023年度休講)	
		企業と社会	2	1-2	教授 小山巖也	○
		企業評価論	2	1-2	教授 辻聖二	○
		組織の経済学	2	1-2	(2023年度休講)	
		イノベーション・マネジメント	2	1-2	(2023年度休講)	
		国際ビジネス	2	1-2	(2023年度休講)	
		観光まちづくり	2	1-2	(2023年度休講)	
プロスポーツビジネス論	2	1-2	(2023年度休講)			
人材管理	2	1-2	(2023年度休講)			
組織における人間行動	2	1-2	(2023年度休講)			
経営情報	特殊講義	経営科学応用論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		意思決定論特殊講義	2	1-2	教授 渡邊光一	○
		組織とIT経営特殊講義	2	1-2	教授 荒川一彦	○
	特論	コラボレーションシステム論	2	1-2	(2023年度休講)	
ナレッジワーク論	2	1-2	教授 荒川一彦	○		
流通・マーケティング	特殊講義	現代流通論特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		マーケティング論特殊講義	2	1-2	教授 天野恵美子	○
		流通システム論特殊講義	2	1-2	教授 福田敦	○
		消費者行動論特殊講義	2	1-2	准教授 佐藤志乃	
		マーケティング・コミュニケーション論特殊講義	2	1-2	教授 岩崎達也	○
		国際マーケティング論特殊講義	2	1-2	准教授 唐沢龍也	○
	特論	グローバルマーケティング	2	1-2	教授 天野恵美子	○
		地域商業論	2	1-2	(2023年度休講)	
会計学	特殊講義	ブランド・コミュニケーション	2	1-2	准教授 佐藤志乃	
		マーケティングと国際知識移転	2	1-2	准教授 唐沢龍也	○
		ブランド・マネジメント特論	2	1-2	(2023年度休講)	
		会計学特殊講義	2	1-2	教授 水谷文宣	○
		管理会計論特殊講義	2	1-2	教授 江頭幸代	○
		制度会計論特殊講義	2	1-2	教授 渡辺竜介	○
	特論	財務会計論特殊講義	2	1-2	教授 越智信仁	○
		税務会計論特殊講義	2	1-2	非常勤講師 野村智夫	
		コストマネジメント論特殊講義	2	1-2	教授 山北晴雄	○
		会計とディスクリージャー	2	1-2	非常勤講師 野村智夫	
		監査制度論	2	1-2	教授 越智信仁	○
国際会計論	2	1-2	教授 渡辺竜介	○		
ライフサイクル・コストイング	2	1-2	(2023年度休講)			
民間非営利組織会計	2	1-2	教授 水谷文宣	○		
キャパシティ・マネジメント	2	1-2	(2023年度休講)			
地方財務会計論	2	1-2	教授 江頭幸代	○		

分野	講義種別	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	特殊講義	現代政治論特殊講義	2	1-2	教授 林博史*	○
		前近代史特殊講義	2	1-2	教授 河内春人	○
		ジェンダー論特殊講義	2	1-2	教授 細谷実己	○
		メディア文化論特殊講義	2	1-2	教授 伊藤明己	○
		自然地理学特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
		青少年問題の社会学特殊講義	2	1-2	(2023年度休講)	
	特論	環境学特殊講義	2	1-2	准教授 田林雄	
		金融技術論	2	1-2	(2023年度休講)	
		租税	2	1-2	非常勤講師 菅沼哲矢	
		所得税法	2	1-2	非常勤講師 菅沼哲矢	
		法人税法	2	1-2	非常勤講師 石渡晃子	
		国際政治の諸問題	2	1-2	教授 林博史*	○
		前近代の交易と東アジア	2	1-2	(2023年度休講)	
		ジェンダーと経済	2	1-2	(2023年度休講)	
		メディアと社会思想	2	1-2	(2023年度休講)	
		地理情報科学特論	2	1-2	(2023年度休講)	
		現代日本の若者と文化	2	1-2	(2023年度休講)	
		地球環境学特論	2	1-2	(2023年度休講)	

B 群 (演習科目)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	演習Ⅰ (経営史)	4	1	教授 四宮正親	○
	演習Ⅱ (経営史)	4	2	教授 四宮正親	○
	演習Ⅰ (経営学)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (経営学)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (経営管理論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (経営管理論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (現代企業論)	4	1	教授 小山 巖也	○
	演習Ⅱ (現代企業論)	4	2	教授 小山 巖也	○
	演習Ⅰ (国際経営論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (国際経営論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (経営組織論)	4	1	准教授 吉村大吾	○
	演習Ⅱ (経営組織論)	4	2	准教授 吉村大吾	○
	演習Ⅰ (経営財務論)	4	1	教授 辻 聖二	○
	演習Ⅱ (経営財務論)	4	2	教授 辻 聖二	○
	演習Ⅰ (経営戦略論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (経営戦略論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (現代ツーリズム)	4	1	教授 才原清一郎	○
	演習Ⅱ (現代ツーリズム)	4	2	教授 才原清一郎	○
演習Ⅰ (スポーツ・マネジメント論)	4	1	准教授 奈良堂史	○	
演習Ⅱ (スポーツ・マネジメント論)	4	2	准教授 奈良堂史	○	
経営情報	演習Ⅰ (経営科学応用論)	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ (経営科学応用論)	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ (意思決定論)	4	1	教授 渡邊光一	○
	演習Ⅱ (意思決定論)	4	2	教授 渡邊光一	○
	演習Ⅰ (組織とIT経営)	4	1	教授 荒川一彦	○
演習Ⅱ (組織とIT経営)	4	2	教授 荒川一彦	○	

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
流通・マーケティング	演習Ⅰ（マーケティング論）	4	1	教授 天 野 恵美子	○
	演習Ⅱ（マーケティング論）	4	2	教授 天 野 恵美子	○
	演習Ⅰ（流通システム論）	4	1	教授 福 田 敦	○
	演習Ⅱ（流通システム論）	4	2	教授 福 田 敦	○
	演習Ⅰ（マーケティング・コミュニケーション論）	4	1	教授 岩 崎 達也	○
	演習Ⅱ（マーケティング・コミュニケーション論）	4	2	教授 岩 崎 達也	○
	演習Ⅰ（国際マーケティング論）	4	1	准教授 唐 沢 龍也	○
	演習Ⅱ（国際マーケティング論）	4	2	准教授 唐 沢 龍也	○
会計学	演習Ⅰ（会計学）	4	1	教授 水 谷 文 宣	○
	演習Ⅱ（会計学）	4	2	教授 水 谷 文 宣	○
	演習Ⅰ（管理会計論）	4	1	教授 江 頭 幸 代	○
	演習Ⅱ（管理会計論）	4	2	教授 江 頭 幸 代	○
	演習Ⅰ（制度会計論）	4	1	教授 渡 辺 竜 介	○
	演習Ⅱ（制度会計論）	4	2	教授 渡 辺 竜 介	○
	演習Ⅰ（財務会計論）	4	1	教授 越 智 信 仁	○
	演習Ⅱ（財務会計論）	4	2	教授 越 智 信 仁	○
	演習Ⅰ（コストマネジメント論）	4	1	教授 山 北 晴 雄	○
	演習Ⅱ（コストマネジメント論）	4	2	教授 山 北 晴 雄	○
共 通	演習Ⅰ（ジェンダー論）	4	1	教授 細 谷 実	○
	演習Ⅱ（ジェンダー論）	4	2	教授 細 谷 実	○
	演習Ⅰ（青少年問題の社会学）	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ（青少年問題の社会学）	4	2	(2023年度休講)	

経営学専攻履修方法

- (1) A群（講義科目）
 - ① 専攻する分野の講義科目を2科目4単位必修。
 - ② ①の他に18単位以上。（B群②の要件で修得した4単位及びC群の要件で修得した8単位を含む）
- (2) B群（演習科目）
 - ① 指導教授の演習Ⅰ・Ⅱ（各年次4単位）計8単位必修。
 - ② ①の他に、分野を問わず演習Ⅰの中から1科目4単位を履修することができる。
その修得した単位はA群②の単位とみなすことができる。
- (3) C群（他専攻科目、法学研究科開講会計人材育成科目、他研究科科目及び他大学院科目）

以下の①から④までの科目を履修して修得した単位は、合わせて8単位までA群②の単位とみなすことができる。ただし、②③の場合には、指導教授並びに当該科目担当教員、④の場合には指導教授並びに当該大学の事前承認を得なければならない。

 - ① 他専攻講義科目から4単位。
 - ② 法学研究科開講の「会計人材育成科目」から4単位。
 - ③ ②を除く本学の他研究科開講科目で、専攻する分野の科目と関連する講義科目から4単位。
 - ④ 神奈川県内の大学間における学術交流協定大学の大学院で特別聴講学生として履修した単位。

※2024年3月定年退職予定

【経済学専攻 博士後期課程】

講義科目

(2023年度実績)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・経済学史	経済理論特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
	経済学史特殊研究	4	1-3	教授 石井 穰	
近代経済学	現代経済特殊研究	4	1-3	教授 中泉 拓也	○
	経済統計学特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
	経済数学特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
	情報処理論特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
応用経済	経済政策論特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
	財政理論特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
	地方財政特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
	金融論特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
	国際金融論特殊研究	4	1-3	教授 黒川 洋行	
	労働経済論特殊研究	4	1-3	教授 吉田 千鶴	
経済史・世界経済	日本経済史特殊研究	4	1-3	教授 名武 なつ紀	○
	アメリカ経済論特殊研究	4	1-3	教授 新岡 智造	○
	国際経済学特殊研究	4	1-3	教授 山本 勝造	○
共通	現代政治論特殊研究	4	1-3	教授 林 博史*	○
	ジェンダー論特殊研究	4	1-3	教授 細谷 実人	○
	前近代史特殊研究	4	1-3	教授 河内 春人	○
	メディア文化論特殊研究	4	1-3	教授 伊藤 明己	○
	青少年問題の社会学特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	

演習科目

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経済理論・経済学史	演習Ⅰ	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅲ	4	3	(2023年度休講)	
近代経済学	演習Ⅰ	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅲ	4	3	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ	4	1	教授 中泉 拓也	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 中泉 拓也	○
演習Ⅲ	4	3	教授 中泉 拓也	○	
応用経済	演習Ⅰ	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅲ	4	3	(2023年度休講)	
	演習Ⅰ	4	1	(2023年度休講)	
	演習Ⅱ	4	2	(2023年度休講)	
	演習Ⅲ	4	3	(2023年度休講)	
経済史・世界経済	演習Ⅰ	4	1	教授 新岡 智造	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 新岡 智造	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 新岡 智造	○
	演習Ⅰ	4	1	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅱ	4	2	教授 名武 なつ紀	○
	演習Ⅲ	4	3	教授 名武 なつ紀	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
共通	演習 I	4	1	教授 林 博史 ^{**}	○
	演習 II	4	2	教授 林 博史 ^{**}	○
	演習 III	4	3	教授 林 博史 ^{**}	○
	演習 I	4	1	教授 伊藤 明己	○
	演習 II	4	2	教授 伊藤 明己	○
	演習 III	4	3	教授 伊藤 明己	○
	演習 I	4	1	教授 河内 春人	○
	演習 II	4	2	教授 河内 春人	○
	演習 III	4	3	教授 河内 春人	○

経済学専攻履修方法

1. 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、指導教授による必要な研究指導を受けなければならない。
2. 研究指導のほか、授業科目の中から、講義科目1科目4単位以上を修得しなければならない。
3. 演習科目は、指導教授が担当する科目に限り、演習 I から順に、各年次1科目ずつ計3科目12単位を修得しなければならない。

※2024年3月定年退職予定

【経営学専攻 博士後期課程】

講義科目

(2023年度実績)

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	経営史特殊研究	4	1-3	教授 四宮正親 (2023年度休講)	○
	経営学特殊研究	4	1-3		
	経営管理論特殊研究	4	1-3		
	国際経営論特殊研究	4	1-3		
	経営財務論特殊研究	4	1-3	教授 辻聖二	○
	現代企業論特殊研究	4	1-3	教授 小山巖也	○
経営情報	意思決定論特殊研究	4	1-3	教授 渡邊光一	○
	経営科学応用論特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	
流通・マーケティング	流通システム論特殊研究	4	1-3	教授 福田敦	○
	マーケティング・コミュニケーション論特殊研究	4	1-3	教授 岩崎達也	○
	マーケティング論特殊研究	4	1-3	教授 天野恵美子	○
会計学	会計学特殊研究	4	1-3	教授 渡辺竜一	○
	管理会計論特殊研究	4	1-3	教授 江頭幸代	○
	財務会計論特殊研究	4	1-3	教授 越智信仁	○
	原価管理論特殊研究	4	1-3	教授 山北晴雄	○
共通	現代政治論特殊研究	4	1-3	教授 林博史*	○
	ジェンダー論特殊研究	4	1-3	教授 細谷実己	○
	メディア文化論特殊研究	4	1-3	教授 伊藤明己	○
	青少年問題の社会学特殊研究	4	1-3	(2023年度休講)	

演習科目

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
経営学	演習 I	4	1	(2023年度休講)	
	演習 II	4	2	(2023年度休講)	
	演習 III	4	3	(2023年度休講)	
	演習 I	4	1	(2023年度休講)	
	演習 II	4	2	(2023年度休講)	
	演習 III	4	3	(2023年度休講)	
	演習 I	4	1	教授 四宮正親	○
	演習 II	4	2	教授 四宮正親	○
	演習 III	4	3	教授 四宮正親	○
	演習 I	4	1	教授 辻聖二	○
	演習 II	4	2	教授 辻聖二	○
	演習 III	4	3	教授 辻聖二	○
	演習 I	4	1	教授 小山巖也	○
	演習 II	4	2	教授 小山巖也	○
	演習 III	4	3	教授 小山巖也	○
経営情報	演習 I	4	1	(2023年度休講)	
	演習 II	4	2	(2023年度休講)	
	演習 III	4	3	(2023年度休講)	
経営情報	演習 I	4	1	教授 渡邊光一	○
	演習 II	4	2	教授 渡邊光一	○
	演習 III	4	3	教授 渡邊光一	○

分野	科目名	単位	配当年次	担当者	研究指導
流通・マーケティング	演習 I	4	1	教授 福田 敦	○
	演習 II	4	2	教授 福田 敦	○
	演習 III	4	3	教授 福田 敦	○
	演習 I	4	1	教授 岩崎 達也	○
	演習 II	4	2	教授 岩崎 達也	○
	演習 III	4	3	教授 岩崎 達也	○
	演習 I	4	1	教授 天野 恵美子	○
	演習 II	4	2	教授 天野 恵美子	○
	演習 III	4	3	教授 天野 恵美子	○
会計学	演習 I	4	1	(2023年度休講)	
	演習 II	4	2	(2023年度休講)	
	演習 III	4	3	(2023年度休講)	
	演習 I	4	1	教授 江頭 幸代	○
	演習 II	4	2	教授 江頭 幸代	○
	演習 III	4	3	教授 江頭 幸代	○
	演習 I	4	1	教授 山北 晴雄	○
	演習 II	4	2	教授 山北 晴雄	○
	演習 III	4	3	教授 山北 晴雄	○
	演習 I	4	1	教授 越智 信仁	○
	演習 II	4	2	教授 越智 信仁	○
	演習 III	4	3	教授 越智 信仁	○
共通	演習 I	4	1	教授 細谷 実	○
	演習 II	4	2	教授 細谷 実	○
	演習 III	4	3	教授 細谷 実	○

経営学専攻履修方法

1. 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、指導教授による必要な研究指導を受けなければならない。
2. 研究指導のほか、授業科目の中から、講義科目1科目4単位以上を修得しなければならない。
3. 演習科目は、指導教授が担当する科目に限り、演習Iから順に、各年次1科目ずつ計3科目12単位を修得しなければならない。

※2024年3月定年退職予定

1. 募集人数

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程・ 修士課程	博士後期課程
法学研究科	法学専攻	5	2
	地域創生専攻	3	—

注1] 博士前期課程・修士課程の入学定員は変更になる場合があります。

注2] 法学専攻博士前期課程は、上記入学定員を「研究者養成コース」と「専修コース」の2つに分けて募集します。

注3] 法学専攻「研究者養成コース」は一般入学試験で若干名募集します。なお、入学する学生は、原則として博士後期課程に進学するよう指導します。

注4] 法学専攻「専修コース」は次の入学試験（一般入学試験 学内推薦入学試験 社会人入学試験 外国人留学生入学試験）により若干名募集します。

注5] 地域創生専攻は、次の入学試験（一般入学試験 学内推薦入学試験 社会人入学試験 自治体等推薦入学試験 外国人留学生入学試験）で募集します。

注6] 博士後期課程は、上記入学定員を次の入学試験（一般入学試験 学内推薦入学試験 社会人入学試験 外国人留学生入学試験 法科大学院修了者特別選抜試験 新司法試験合格者特別選抜試験）により募集します。

2. 出願資格

【博士前期課程（法学専攻）】

(1) 一般入学試験（研究者養成コース・専修コース）

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（専修コース）

関東学院大学を2024年3月までに卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験（専修コース）

以下の①または②に該当し、在職経験がある者または現在在職している者（家事専従者を含む）

① 学校教育法に定める大学を2021年3月以前に卒業した者

② 2024年4月1日現在満25歳以上の者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者（ただし、卒業（修了）見込みの者を除く）

(4) 外国人留学生入学試験（専修コース）

外国籍を有し、入学後在留資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者

② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

【修士課程（地域創生専攻）】

(1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

関東学院大学を2024年3月までに卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

以下の①または②に該当し、在職経験がある者または現在在職している者（家事専従者を含む）

- ① 学校教育法に定める大学を2021年3月以前に卒業した者
- ② 2024年4月1日現在満25歳以上の者で、一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者（ただし、卒業（修了）見込みの者を除く）

(4) 自治体等推薦入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当する者で、関東学院大学または関東学院大学法学部が包括連携協定を締結している地方公共団体等^{*}からの推薦を受けた職員（特別職を含む）及び議員

〈対象となる地方公共団体等は以下の通り〉

神奈川県、横浜市、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町、茅ヶ崎市、小田原市、相模原市、岩手県、福島県、東京都東大和市、群馬県上野村、沖縄県西原町、沖縄県与那原町、横須賀市議会、横須賀商工会議所（2023年9月時点）

(5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（留学）を取得できる者で、下記のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格（2）～（10）のいずれかに該当する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本研究科博士前期課程（研究者養成コース）を2024年3月までに修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ出願に先立って指導教授の推挙により本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

以下のいずれかに該当する社会人

- ① 職業の有無にかかわらず、2024年3月末日時点で、大学院修士課程・博士前期課程修了後2年以上経過している者
- ② 本研究科博士前期課程に社会人入学試験または社会人推薦入学試験で入学し、同課程を修了または修了見込みの者
- ③ 2024年3月末日時点で、大学卒業後5年以上を経過し、かつ修士学位論文に準ずる研究業績のある者

(4) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国の大学院で修士の学位または専門職学位を有する者及び2024年3月までに修士の学位または専門職学位を取得見込みの者
- ② 日本の大学院で修士の学位または専門職学位を有する者及び2024年3月までに修士の学位または専門職学位を取得見込みの者

(5) 法科大学院修了者特別選抜試験

法務博士（専門職）学位取得者、及び2024年3月取得見込みの者

(6) 新司法試験合格者特別選抜試験

法務博士（専門職）学位取得者で、かつ新司法試験合格者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議

(修士課程 地域創生専攻)

地域創生専攻志望者は、出願に先立ち、事前協議を行います。事前協議では、志望動機、実務経験、希望する分野・指導教授をあらかじめ確認することにより、志願者が希望する学修内容と、本専攻で提供する学修内容との齟齬が生じないように調整を行います。なお、事前協議はオンラインで実施します。出願を希望する者は、本要項巻末の「事前協議申込書」、「履歴票」、「研究計画書」（出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）を申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。

(博士後期課程)

博士後期課程志望者は、出願に先立って志望する専修分野の指導教授と以下の日程により事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、「履歴票」（本要項巻末の用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）、「修士学位論文」（またはこれに準ずるもの）の写し1部、「研究計画書」（本要項巻末の用紙。出願時に原本が必要なため、事前協議では写しを提出）を申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。また、前記の書類に加え、法科大学院修了者特別選抜試験を受ける者は「リサーチペーパー」、新司法試験合格者特別選抜試験を受ける者は「リサーチペーパー」及び「新司法試験合格証書」（または合格通知書）の写しも提出してください。ただし、本研究科博士前期課程修了者（見込み含む）については、事前協議は行いません。

なお、事前協議終了時に内諾書の交付を受けてください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月5日（水）	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	12月11日（月）		

4. 出願書類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程（法学専攻）】（※印は巻末の用紙）

出願書類		備考	一般入試	外国人推薦入試 外国人留学生入試	社会人入試
1	志願票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○
2	※履歴票		○	○	○
3	写真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○
4	成績証明書	注1、3]	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科 修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了（見込み）の者は、修了（見込み） 証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類	○	○	○
6	※研究計画書	2,000字程度	○	○	○
7	※職務経歴書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	—	○
8	※自己推薦状		—	—	○
9	資格取得を証明する書類	注4] 写し可	○ （の 該 み 当 者）	—	○ （の 該 み 当 者）

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は、出願時に上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] ●社会人入試の志願者のうち、自己推薦状もしくは職務経歴書に資格を記入した場合は、資格取得を証明する書類を提出してください。（資格の記入は任意）

●資格取得例：公認会計士（短答式試験、論文式試験）、日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、税理士試験（科目合格も可）、司法書士試験、不動産鑑定士等。

●一般入試（研究者養成コース）に出願する者で外国語科目の免除を希望する者は、該当する資格試験の合格証明書または成績証明書を提出してください。

注5] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

【修士課程（地域創生専攻）】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一 般 入 試	学 内 推 薦 入 試	外 国 人 留 学 生 入 試	社 会 人 入 試	自 治 体 等 推 薦 入 試
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○
2	※ 履 歴 票		○	○	○	○	○
3	写 真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○
4	成 績 証 明 書	注1、3]	○	○	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位（称号）授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻 科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授 与申請書 専修学校の専門課程修了（見込）の者は、修了（見 込）証明書及び高度専門士の称号を取得すること を証明する書類	○	○	○	○	○
6	※ 研 究 計 画 書	2,000字程度	○	○	○	○	○
7	※ 職 務 経 験 書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	○	○	○	○
8	※ 推 薦 状	自治体等推薦入学試験で受験する者のみ提出 任命権者等による推薦状	—	—	○	○	○
9	※ 自 己 推 薦 状		—	○	○	○	○
10	資格取得を証明する書類	注4] 写し可	—	○ (該 み 者)	○	○	○

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業（見込み）者は、学位授与（見込み）証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学（大学院・法科大学院含む）を卒業（修了）した者及び卒業（修了）見込みの者は、出願時に上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] ●社会人入試の志願者のうち、自己推薦状もしくは職務経歴書に資格を記入した場合は、資格取得を証明する書類を提出してください。（資格の記入は任意）

●資格取得例：公認会計士（短答式試験、論文式試験）、日本商工会議所簿記検定1級、全国経理教育協会簿記能力検定上級、税理士試験（科目合格も可）、司法書士試験、不動産鑑定士等。

注5] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

【博士後期課程（法学専攻）】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一 学 外 国 人 推 薦 入 試	社 会 人 入 試	特 別 選 拔 試 験	法 科 大 学 院 修 了 者	新 司 法 試 験 合 格 者
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○
2	※履 歴 票		○	○	○	○	○
3	写 真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○
4	修士課程（博士前期課程） 成 績 証 明 書	注1、2]	○	○	—	—	—
5	法科大学院成績証明書	注1、2]	—	—	○	○	—
6	修士課程（博士前期課程） 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2]	○	○	—	—	—
7	法科大学院修了証明書 または修了見込証明書 法務博士学位取得証明書	注1、2]	—	—	○	○	—
8	修士学位論文または それに準ずるもの	写し3部、要旨3部 修士学位論文に準ずるものは、40,000字程度、 欧文の場合は80,000字程度の論文とする 外国人留学生入学試験に出願する者で外国語 で書かれた論文を提出する場合は、日本語に よる要旨を添付すること	○	○	—	—	—
9	※研 究 計 画 書		○	○	—	—	—
10	内 諾 書	志望する専修分野の希望指導教授が作成した もの 本研究科博士前期課程修了者（見込み含む） は不要	○ （は学 除内 く推 薦）	○	○	○	○
11	※職 務 経 験 書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	○	—	—	—
12	※自 己 推 薦 状		—	○	—	—	—
13	※リサーチペーパー	3部（A4版） 主に志望する研究分野における任意の 研究テーマに関する日本語で執筆された論文 （15,000字程度）	—	—	○	○	—
14	新司法試験合格証書(写) または合格通知書(写)		—	—	—	○	○

注1) 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2) 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3) 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

5. 既修得単位の事前照会

〈目的〉

法学研究科では、他の大学院や他研究科等を修了していたり、過去に科目等履修生などの制度を利用したりして、大学院における修得単位を持つ状態の受験希望者に対し、入学前に入学後単位認定できる科目と単位数を示すことによって、計画的な履修計画をすみやかに立てることができるようにするため、既修得単位の事前照会を実施します。

希望者は、下記の提出期限までに、巻末の「既修得単位事前照会願」に必要事項を記入し、該当科目の成績表及びシラバス等講義内容がわかる関連資料とともに、下記宛先に郵送してください。

〒236-8501

神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1 関東学院大学アドミッションズセンター 宛
(封筒の表面に「既修得単位事前照会願 在中」と朱書きしてください)

〈提出期限〉

8月募集 2023年8月1日(火)

1月募集 2024年1月19日(金)

〈認定可能な単位数〉

上限15単位まで

〈結果の通知〉

結果の通知は、合格発表後に郵送いたします。

なお、通知書は、入学後の履修登録の際に必要となりますので、大切に保管くださいますようお願いいたします。

6. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

7. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程（法学専攻）】

(1) 一般入学試験（研究者養成コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
外国語	100点	9:00~10:30 (90分)	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目から1ヶ国語を出願時に選択。標準辞書使用可（ただし、電子辞書を除く） ※以下に示す、一定の外国語能力があると認められる者に対しては外国語科目を免除する ●英語 TOEFL iBT79点以上もしくはITP550点以上、またはTOEIC (L&R) 730点以上 ●ドイツ語 ドイツ語技能検定試験(独検)準1級以上またはゲーテ・ドイツ語検定試験B2以上 ●フランス語 実用フランス語技能検定試験(仏検)準1級以上またはフランス国民教育省フランス語資格検定試験(DELFI) B2以上
小論文 (2科目)	各100点 計200点	10:50~12:50 (120分)	志望する専修分野において、希望する指導教授に応じて指定された科目のなかから、1科目を「主要科目」とし、同分野の残りの科目から1科目を「選択科目」として、2科目を出願時に選択。注] P.57の別表参照（必要に応じて、大学で用意する六法の使用可）
面接	—	14:00~	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(2) 一般入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
法学に関する 小論文 または 法律科目	100点	10:50~12:50 (120分)	「法学に関する小論文」または別表に掲げる法律科目1科目 ※別表（P.57）に掲げる法律科目については、志望する専修分野において、希望する指導教授に応じて指定された科目の中から1科目を出願時に選択（法律科目の筆記試験には、必要に応じて、大学で用意する六法の使用可）
面接	—	14:00~	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(3) 学内推薦入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14:00~	研究計画書等に基づく口頭試問

(4) 社会人入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14:00~	研究計画、将来の進路等について

(5) 外国人留学生入学試験（専修コース）

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	10:50~11:50 (60分)	志望する専修分野において指定された科目のうちから、希望する指導教授が担当する1科目を出願時に選択注] P.57の別表参照（必要に応じて、大学で用意する六法の使用可）
面接	—	13:00~	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(別 表) 専修分野別受験指定科目一覧表

専修分野	指導教授	担当科目	受験指定科目
公共関係法	吉田仁美	憲法	憲法
	今村哲也	行政法	行政法
	山田有人	税法	税法
	鳥澤 円	法哲学	法哲学
	村上 裕	西洋法制史	西洋法制史
	武藤達夫	国際法	国際法
	宮本弘典	刑法	刑法
	川島健治	刑法 刑事訴訟法	刑法 刑事訴訟法
	藤田潤一郎	政治学	政治学
	高瀬幹雄	国際政治	国際政治学
	浅野俊哉	社会思想史	社会思想史
経済関係法	村田輝夫	民法(財産法)	民法(財産法)
	徳永江利子	家族法	民法(家族法)
	河村好彦	民事訴訟法	※民事訴訟法
	三原園子	企業取引法 企業組織法 有価証券法	※商法
	本田直志	経済法 国際経済法	経済法 国際経済法
	山田有人	国際租税法	税法

注1] 一般入学試験(研究者養成コース)受験者は、志願票に記入した論文科目(2科目)の、それぞれの〔設問1〕について論述する。

一般入学試験(専修コース)受験者は、志願票に記入した論文科目(1科目)の、それぞれの〔設問1・設問2〕について論述する。

注2] ※指導教授を河村好彦教授とする場合は、志願票には「民事訴訟法」と記載し、試験当日に「民事訴訟法」「倒産法」からいずれか1科目を任意に選択する。

※指導教授を三原園子教授とする場合は、志願票には「商法」と記載し、試験当日に「商法(総則・商行為)」「会社法」「手形法・小切手法」からいずれか1科目を任意に選択する。

【修士課程（地域創生専攻）】

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
地域創生に関する小論文	100点	10：50～11：50 (60分)	
面接	—	13：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(4) 自治体等推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14：00～	研究計画書等に基づく口頭試問

(5) 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
地域創生に関する小論文	100点	10：50～11：50 (60分)	
面接	—	13：00～	研究計画、将来の進路等についての口頭試問

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
外国語 (2科目)	各100点 計200点	9:00~11:00 (120分)	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目から2科目を出願時に選択。標準辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	—	11:30~	修士学位論文またはそれに準ずるもの及び研究計画書に関する口頭試問

(2) 学内推薦入学試験(1月募集のみ)

試験科目	配点	試験時間	備 考
面接	—	11:30~	修士学位論文及び研究計画書に関する口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
外国語	100点	9:00~10:00 (60分)	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目から1科目を出願時に選択。標準辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	—	11:30~	修士学位論文またはそれに準ずるもの及び研究計画書に関する口頭試問

(4) 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
日本語	100点	9:00~11:00 (120分)	標準辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	—	11:30~	修士学位論文及び研究計画書に関する口頭試問

(5) 法科大学院修了者特別選抜試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
外国語	100点	9:00~10:00 (60分)	「英語」、「ドイツ語」、「フランス語」の3科目から1科目を出願時に選択。標準辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	—	11:30~	提出されたりサーチペーパー及び研究計画書に関する口頭試問

(6) 新司法試験合格者特別選抜試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
面接	—	11:30~	提出されたりサーチペーパー及び研究計画書に関する口頭試問

7. 試 験 場 (P.106、107参照)

関東学院大学 関内キャンパス

〒231-0031 横浜市中区万代町1-1-1

◎ 法学研究科授業科目表

【博士前期課程（法学専攻）】

講義科目（基礎講義）

（2023年度実績）

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
公共関係法	憲法Ⅰ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	吉田仁美
	憲法Ⅱ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	行政法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	今村哲也
	環境法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	税法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	山田有人
	法哲学基礎講義	2	△	1・2	○		講義	鳥澤 円
	西洋法制史基礎講義	2	△	1・2	○		講義	村上 裕
	国際法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	武藤達夫
	地方自治法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	出石 稔
	刑法Ⅰ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	宮本弘典
	刑法Ⅱ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	経済刑法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	刑事訴訟法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	川島健治
	刑事政策基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	刑事法史学基礎講義	2	△	1・2	○		講義	宮本弘典
	政治学基礎講義	2	△	1・2	○		講義	藤田潤一郎
	国際政治基礎講義	2	△	1・2	○		講義	高瀬幹雄
	社会思想史基礎講義	2	△	1・2	○		講義	浅野俊哉
経済関係法	民法（財産法Ⅰ）基礎講義	2	△	1・2	○		講義	村田輝夫
	民法（財産法Ⅱ）基礎講義	2	△	1・2	○		講義	松原 哲*
	民法（財産法Ⅲ）基礎講義	2	△	1・2	○		講義	志村 武
	家族法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	徳永江利子
	民事訴訟法Ⅰ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	民事訴訟法Ⅱ基礎講義	2	△	1・2	○		講義	河村好彦
	企業取引法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	企業組織法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	三原園子
	有価証券法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	経済法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	本田直志
	金融商品取引法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	長谷川 新
	国際経済法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	本田直志
	労働法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
	社会保障法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	大原利夫
	国際金融制度論基礎講義	2	△	1・2	○		講義	2023年度休講
国際租税法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	山田有人	

△：専攻する分野の科目について必修となる

講義科目（特殊講義）

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
公共関係法	憲法Ⅰ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	吉田仁美
	憲法Ⅱ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	行政法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	今村哲也
	環境法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	税法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	山田有人
	法哲学特殊講義	2	△	1・2		○	講義	鳥澤 円
	西洋法制史特殊講義	2	△	1・2		○	講義	村上 裕
	国際法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	武藤達夫
	地方自治法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	出石 稔
	刑法Ⅰ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	宮本弘典
	刑法Ⅱ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	経済刑法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	刑事訴訟法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	川島健治
	刑事政策特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	刑事法史学特殊講義	2	△	1・2		○	講義	宮本弘典
	政治学特殊講義	2	△	1・2		○	講義	藤田潤一郎
	国際政治特殊講義	2	△	1・2		○	講義	高瀬幹雄
	社会思想史特殊講義	2	△	1・2		○	講義	浅野俊哉
	公共関係法文献研究	2	△	1・2		○	講義	浅野俊哉 野村哲也 今川島健治 川高瀬幹雄 山田有 藤田潤一郎 宮本弘典 武藤達夫 村上裕 吉田仁美

△：専攻する分野の科目について必修となる

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
経済関係法	民法（財産法Ⅰ）特殊講義	2	△	1・2		○	講義	村田輝夫
	民法（財産法Ⅱ）特殊講義	2	△	1・2		○	講義	松原哲 [*]
	民法（財産法Ⅲ）特殊講義	2	△	1・2		○	講義	志村武
	家族法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	徳永江利子
	民事訴訟法Ⅰ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	民事訴訟法Ⅱ特殊講義	2	△	1・2		○	講義	河村好彦
	企業取引法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	企業組織法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	三原園子
	有価証券法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	経済法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	本田直志
	金融商品取引法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	長谷川新
	国際経済法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	本田直志
	労働法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	社会保障法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	大原利夫
	国際金融制度論特殊講義	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	国際租税法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	山田有人
経済関係法文献研究	2	△	1・2		○	講義	河村好彦 徳永江利子 本田直志 松原哲 [*] 三原園子 村田輝夫 山田有人	

△：専攻する分野の科目について必修となる

演習科目

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
公共関係法	憲法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	吉田仁美
	憲法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	吉田仁美
	行政法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	今村哲也
	行政法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	今村哲也
	税法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	山田有人
	税法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	山田有人
	法哲学専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	鳥澤 円
	法哲学専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	鳥澤 円
	西洋法制史専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	村上 裕
	西洋法制史専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	村上 裕
	国際法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	武藤達夫
	国際法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	武藤達夫
	地方自治法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	出石 稔
	地方自治法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	出石 稔
	刑法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	宮本弘典
	刑法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	宮本弘典
	刑法専門応用(演習)3	1	△	1・2	○		演習	川島健治
	刑法専門応用(演習)4	1	△	1・2		○	演習	川島健治
	経済刑法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	経済刑法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
	刑事訴訟法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	川島健治
	刑事訴訟法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	川島健治
	刑事政策専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	刑事政策専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
	政治学専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	藤田潤一郎
	政治学専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	藤田潤一郎
	国際政治専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	高瀬幹雄
	国際政治専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	高瀬幹雄
	社会思想史専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	浅野俊哉
	社会思想史専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	浅野俊哉

△：専攻する分野の科目について必修となる

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
経済関係法	民法（財産法）専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	松原 哲 [*]
	民法（財産法）専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	松原 哲 [*]
	民法（財産法）専門応用（演習）3	1	△	1・2	○		演習	村田 輝夫
	民法（財産法）専門応用（演習）4	1	△	1・2		○	演習	村田 輝夫
	家族法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	徳永 江利子
	家族法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	徳永 江利子
	民事訴訟法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	民事訴訟法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
	民事訴訟法専門応用（演習）3	1	△	1・2	○		演習	河村 好彦
	民事訴訟法専門応用（演習）4	1	△	1・2		○	演習	河村 好彦
	企業活動法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	企業活動法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
	企業組織法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	三原 園子
	企業組織法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	三原 園子
	有価証券法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	有価証券法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
	経済法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	本田 直志
	経済法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	本田 直志
	金融商品取引法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	金融商品取引法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
	国際経済法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	本田 直志
	国際経済法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	本田 直志
	労働法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	労働法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
	社会保障法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	大原 利夫
	社会保障法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	大原 利夫
	国際金融制度論専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	2023年度休講
	国際金融制度論専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	2023年度休講
国際租税法専門応用（演習）1	1	△	1・2	○		演習	山田 有人	
国際租税法専門応用（演習）2	1	△	1・2		○	演習	山田 有人	

△：専攻する分野の科目について必修となる

研究指導科目

科 目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担 当 者
				春	秋		
合 同 論 文 指 導 I	1	○	1	○		演習	浅 野 俊 哉 今 村 哲 也 川 島 健 治 河 村 好 彦 高 瀬 幹 雄 德 永 幹 子 鳥 澤 江 利 山 田 一 円 藤 田 人 郎 本 田 志 哲 [*] 松 原 子 典 三 本 弘 夫 宮 武 裕 村 上 夫 村 田 輝 吉 田 仁 美
合 同 論 文 指 導 II	1	○	1		○	演習	浅 野 俊 哉 今 村 哲 也 川 島 健 治 河 村 好 彦 高 瀬 幹 雄 德 永 幹 子 鳥 澤 江 利 山 田 一 円 藤 田 人 郎 本 田 志 哲 [*] 松 原 子 典 三 本 弘 夫 宮 武 裕 村 上 夫 村 田 輝 吉 田 仁 美
合 同 論 文 指 導 III	2	○	2	○		演習	浅 野 俊 哉 今 村 哲 也 川 島 健 治 河 村 好 彦 高 瀬 幹 雄 德 永 幹 子 鳥 澤 江 利 山 田 一 円 藤 田 人 郎 本 田 志 哲 [*] 松 原 子 典 三 本 弘 夫 宮 武 裕 村 上 夫 村 田 輝 吉 田 仁 美

科 目	単 位	必 選 別	配 当 年 次	配 当 期		講 義 形 態	担 当 者
				春	秋		
合 同 論 文 指 導 IV	2	○	2		○	演 習	浅 野 俊 哉 今 村 哲 也 川 島 健 治 河 村 好 彦 高 瀬 幹 雄 徳 永 江 利 子 鳥 澤 円 山 田 有 人 藤 田 潤 一 郎 本 田 直 志 松 原 哲 哲 [*] 三 宮 園 子 武 藤 弘 達 村 上 藤 夫 村 田 輝 夫 山 田 有 人 吉 田 仁 美

履修方法及び修了要件

- ① 入学の際、専修分野を1つ選択すること。
- ② 開講科目の中から条件にしたがって、2年以上にわたって30単位以上を修得すること。
- ③ 大学院に2年以上在学して所定の単位を修得し、研究上必要な指導を受けて、修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

法学研究科 法学専攻 博士前期課程 指導教授一覧

浅 野 俊 哉	高 瀬 幹 雄	三 原 園 子	村 上 裕
今 村 哲 也	徳 永 江 利 子	藤 田 潤 一 郎	村 田 輝 夫
川 島 健 治	鳥 澤 円	宮 本 弘 典	山 田 有 人
河 村 好 彦	本 田 直 志	武 藤 達 夫	吉 田 仁 美

※2024年3月定年退職予定

【修士課程（地域創生専攻）】

講義科目

(2023年度実績)

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
専攻主要科目	地域創生論講義（自治体行政）	2	△	1・2	○		講義	出石 稔
	地域創生論講義（社会保障）	2	△	1・2	○		講義	大原 利夫
	地域創生論講義（コミュニティ）	2	△	1・2	○		講義	籠谷 和弘
	地域創生論講義（社会システム）	2	△	1・2	○		講義	木村 乃
	地域創生論講義（政策法務）	2	△	1・2	○		講義	津軽石 昭彦
	地域創生論講義（地方創生）	2	△	1・2	○		講義	牧瀬 稔
地域創生系科目	行政学講義	2	△	1・2	○		講義	牧瀬 稔
	地域社会論講義	2	△	1・2	○		講義	籠谷 和弘
	地域環境政策論講義	2	△	1・2	○		講義	千葉 実
	地域DX推進論講義	2	△	1・2	○		講義	廣川 聡美
	ソーシャルビジネス論講義	2	△	1・2	○		講義	木村 乃
	防災・復興論講義	2	△	1・2		○	講義	津軽石 昭彦
	SDGs実践論講義	2	△	1・2		○	講義	大塚 哲雄
	地域安全政策論講義	2	△	1・2		○	講義	江崎 澄孝
	地方財務会計論（特論）	2	△	1・2		○	講義	江頭 幸代
	地方議会論講義	2	△	1・2		○	講義	牧瀬 稔 出石 稔 津軽石 昭彦
公法系科目	地方自治法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	出石 稔
	地方自治法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	出石 稔
	行政法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	今村 哲也
	行政法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	今村 哲也
	社会保障法基礎講義	2	△	1・2	○		講義	大原 利夫
	社会保障法特殊講義	2	△	1・2		○	講義	大原 利夫
マネジメント系科目	現代企業論特殊講義	2	△	1・2	○		講義	小山 巖也
	経営財務論特殊講義	2	△	1・2		○	講義	辻 聖二
	現代ツーリズム特殊講義	2	△	1・2		○	講義	才原 清一郎
	地域商業論（特論）	2	△	1・2		○	講義	2023年度休講
	マーケティング・コミュニケーション論特殊講義	2	△	1・2	○		講義	岩崎 達也
	コストマネジメント論特殊講義	2	△	1・2		○	講義	山北 晴雄

△：専攻する分野の科目について必修となる

演習科目

科 目	単位	必選別	配当 年次	配当期		講義 形態	担 当 者
				春	秋		
地方自治法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	出石 稔
地方自治法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	出石 稔
社会保障法専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	大原 利夫
社会保障法専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	大原 利夫
地域社会論専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	籠谷 和弘
地域社会論専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	籠谷 和弘
ソーシャルビジネス論専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	木村 乃
ソーシャルビジネス論専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	木村 乃
防災・復興論専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	津軽石 昭彦
防災・復興論専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	津軽石 昭彦
地方議会論専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	津軽石 昭彦 出石 稔 牧瀬 稔
地方議会論専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	出石 稔 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
行政学専門応用(演習)1	1	△	1・2	○		演習	牧瀬 稔
行政学専門応用(演習)2	1	△	1・2		○	演習	牧瀬 稔

△：専攻する分野の科目について必修となる

研究指導科目（修士論文を選択）

科 目	単位	必選別	配当 年次	配当期		講義 形態	担 当 者
				春	秋		
合同論文指導Ⅰ	1	○	1	○		演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅱ	1	○	1		○	演習	出石 稔 大原 利夫 籠谷 和弘 木村 乃 津軽石 昭彦 牧瀬 稔
合同論文指導Ⅲ	2	○	2	○		演習	2024年度開講
合同論文指導Ⅳ	2	○	2		○	演習	2024年度開講

研究指導科目（特定課題研究を選択）

科 目	単位	必選別	配当 年次	配当期		講義 形態	担 当 者
				春	秋		
特 定 課 題 研 究 I	1	○	1	○		演習	出石 稔 夫 大原 利 和 弘 籠谷 村 昭 彦 木村 津 乃 津石 昭 彦 牧瀬 稔
特 定 課 題 研 究 II	1	○	1		○	演習	出石 稔 夫 大原 利 和 弘 籠谷 村 昭 彦 木村 津 乃 津石 昭 彦 牧瀬 稔
合 同 リ サ ー チ ペ ー パ ー 指 導 I	2	○	2	○		演習	2024年度開講
合 同 リ サ ー チ ペ ー パ ー 指 導 II	2	○	2		○	演習	2024年度開講

法学研究科 地域創生専攻 指導教授一覧

出石 稔 木村 乃	大原 利 夫 津石 昭 彦	籠谷 和 弘 牧瀬 稔
--------------	------------------	----------------

【博士後期課程】

講義科目

(2023年度実績)

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
公共関係法	憲法特殊研究1	2	△		○		演習	吉田仁美
	憲法特殊研究2	2	△			○	演習	吉田仁美
	行政法特殊研究1	2	△		○		演習	今村哲也
	行政法特殊研究2	2	△			○	演習	今村哲也
	法哲学特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	法哲学特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	税法特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	税法特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	国際法特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	国際法特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	地方自治法特殊研究1	2	△		○		演習	出石 稔
	地方自治法特殊研究2	2	△			○	演習	出石 稔
	環境法特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	環境法特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	刑法特殊研究1	2	△		○		演習	宮本弘典
	刑法特殊研究2	2	△			○	演習	宮本弘典
	刑事訴訟法特殊研究1	2	△		○		演習	川島健治
	刑事訴訟法特殊研究2	2	△			○	演習	川島健治
	政治学特殊研究1	2	△		○		演習	藤田潤一郎
	政治学特殊研究2	2	△			○	演習	藤田潤一郎
	社会思想史特殊研究1	2	△		○		演習	浅野俊哉
	社会思想史特殊研究2	2	△			○	演習	浅野俊哉
	国際政治学特殊研究1	2	△		○		演習	高瀬幹雄
	国際政治学特殊研究2	2	△			○	演習	高瀬幹雄
経済関係法	民法(財産法)特殊研究1	2	△		○		演習	松原 哲 [*]
	民法(財産法)特殊研究2	2	△			○	演習	松原 哲 [*]
	民法(財産法)特殊研究3	2	△		○		演習	村田輝夫
	民法(財産法)特殊研究4	2	△			○	演習	村田輝夫
	家族法特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	家族法特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	民事訴訟法特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	民事訴訟法特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	企業活動法特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	企業活動法特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	企業組織法特殊研究1	2	△		○		演習	三原園子
	企業組織法特殊研究2	2	△			○	演習	三原園子
	有価証券法特殊研究1	2	△		○		演習	三原園子
	有価証券法特殊研究2	2	△			○	演習	三原園子

分野	科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
					春	秋		
経済関係法	競争法特殊研究1	2	△		○		演習	本田直志
	競争法特殊研究2	2	△			○	演習	本田直志
	国際経済法特殊研究1	2	△		○		演習	本田直志
	国際経済法特殊研究2	2	△			○	演習	本田直志
	労働法特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	労働法特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講
	国際金融制度論特殊研究1	2	△		○		演習	2023年度休講
	国際金融制度論特殊研究2	2	△			○	演習	2023年度休講

△：専攻する分野の科目について必修となる

研究指導科目

科目	単位	必選別	配当年次	配当期		講義形態	担当者
				春	秋		
合同論文指導V	2	○	1	○		演習	浅野俊哉 出石哲稔 今村哲也 川島健治 高瀬幹雄 藤田潤一郎 本田直志 三原園子 宮本弘典 吉田仁美
合同論文指導VI	2	○	1		○	演習	浅野俊哉 出石哲稔 今村哲也 川島健治 高瀬幹雄 藤田潤一郎 本田直志 三原園子 宮本弘典 吉田仁美
合同論文指導VII	2	○	2	○		演習	浅野俊哉 出石哲稔 今村哲也 川島健治 高瀬幹雄 藤田潤一郎 本田直志 三原園子 宮本弘典 吉田仁美

科 目	単 位	必 選 別	配 当 年 次	配 当 期		講 義 形 態	担 当 者
				春	秋		
合 同 論 文 指 導 Ⅷ	2	○	2		○	演習	浅 野 俊 哉 出 石 稔 也 今 村 哲 也 川 島 健 治 高 瀬 幹 雄 藤 田 潤 一 郎 本 田 直 志 三 原 園 子 吉 田 弘 典 田 仁 美
合 同 論 文 指 導 Ⅸ	2	○	3		○	演習	浅 野 俊 哉 出 石 稔 也 今 村 哲 也 川 島 健 治 高 瀬 幹 雄 藤 田 潤 一 郎 本 田 直 志 三 原 園 子 吉 田 弘 典 田 仁 美
合 同 論 文 指 導 Ⅹ	2	○	3		○	演習	浅 野 俊 哉 出 石 稔 也 今 村 哲 也 川 島 健 治 高 瀬 幹 雄 藤 田 潤 一 郎 本 田 直 志 三 原 園 子 吉 田 弘 典 田 仁 美

履修方法及び修了要件

- ① 学位論文作成のため、各自の研究主題に応じて、専攻する専修分野の研究指導科目6科目12単位を修得すること。
- ② 博士の学位を受けようとする者は、3年以上在学し、学位論文を提出してその審査及び最終試験に合格すること。

法学研究科 博士後期課程 指導教授一覧 (2023年度実績)

浅 野 俊 哉	高 瀬 幹 雄	本 田 直 志
出 石 稔 也	藤 田 潤 一 郎	三 原 園 子
今 村 哲 也	宮 本 弘 典	
川 島 健 治	吉 田 仁 美	

※2024年3月定年退職予定

1. 募集人数

研究科	専攻	入学定員	
		博士前期課程	博士後期課程
工学研究科	機械工学専攻	7	-
	電気工学専攻	7	-
	情報学専攻	3	-
	建築学専攻	10	3
	土木工学専攻	5	-
	物質生命科学専攻	12	-
	総合工学専攻	-	専攻全体(全専修合計) 7
	機械工学専修		
	電気工学専修		
	健康・人間工学専修		
数物科学専修			
情報学専修			
土木工学専修			
応用化学専修			
生命科学専修			
材料・表面工学専修			

注1] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、公募制推薦入学試験（博士前期課程のみ）、社会人入学試験、外国人留学生入学試験（博士前期課程のみ）で募集します。

注2] 博士後期課程総合工学専攻は、募集は専攻で行いますが、出願時に希望した指導教授により専攻が決定します。

2. 出願資格

【博士前期課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該学科より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 公募制推薦入学試験

以下のいずれかに該当し、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って在学または在学していた学校における学部長（学部長に準ずる者）あるいは指導教員から推薦された者。ただし、本学を卒業した者及び本学を卒業見込みの者は除く

- ① 大学を卒業した者及び卒業見込みの者
- ② 学校教育法第68条の2第4項の規定により学士の学位を授与された者及び2024年3月までに授与される見込みの者
- ③ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2024年3月までに修了見込みの者

(4) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し（ただし、見込みの者を除く）、大学を卒業した後、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者

(5) 外国人留学生入学試験

外国籍を有し、入学後在留資格（留学）を取得できる者で、以下のいずれかに該当する者

- ① 外国人留学生として大学を卒業した者及び2024年3月卒業見込みの者
- ② 一般入学試験の出願資格 (2)～(10) いずれかに該当する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1 に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験（1月募集のみ）

本学工学研究科博士前期課程を修了見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って当該専攻より推薦された者

(3) 社会人入学試験

以下のいずれかに該当する者

- ① 一般入学試験の出願資格 (1)、(2) のいずれかに該当し、博士前期課程を修了した後、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者
- ② 一般入学試験の出願資格 (6) に該当し、教育・研究機関、官庁、会社等において、大学院入学時までに2年以上職務に従事したことがある者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1 に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議について

博士前期課程志望者のうち、他大学からの志願者、公募制推薦入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験で受験する者（本学理工学部、建築・環境学部卒業見込みの者は除く）及び博士後期課程志望者のうち、他大学からの志願者及び社会人入学試験で受験する者は、出願に先立ち、志望専攻の専攻主任または希望する専修科目の指導教授と事前協議を行い、内諾書（出願時に提出）の交付を受けてください。なお、事前協議実施にあたり、担当教員より追加資料をお願いする場合があります。

事前協議を希望する場合には、申込締切日までにアドミッションズセンター（TEL. 045-786-7019）へ申し出てください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月5日（水）	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	2024年 1月12日（金）		

4. 出 願 書 類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

【博士前期課程】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一般入試	学内推薦入試	公募制推薦入試	社会人入試	外国人留学生入試
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○	○	○
2	※ 履 歴 票		○	○	○	○	○
3	写 真 (2 枚)	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm(カラー) 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○	○	○
4	成 績 証 明 書	注1、3]	○	○	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位(称号)授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与申請書 専修学校の専門課程修了(見込み)の者は、修了(見込み)証明書及び高度専門士の称号を取得することを証明する書類	○	○	○	○	○
6	※ 職 務 経 験 書	2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	—	—	○	—
7	※ 推 薦 状	在学または在学していた学校の指導教員(指導教授等)の推薦状	—	—	○	—	—
8	内 諾 書	事前協議者のみ提出 希望する専攻科目の指導教授または専攻主任が作成したもの ※本学卒業(見込)者は不要	○	—	○	○	○
9	資格試験に関する証明書	一般入学試験の志願者で、英語試験の免除を希望する者は、P.77の試験時間割の英語の備考欄に指定された資格に関する証明書(写し可)を提出すること。	○ (該 み 者)	—	—	—	—

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業(見込み)者は、学位授与(見込み)証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学(大学院・法科大学院含む)を卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

注5] 一般入学試験及び外国人留学生入学試験で建築学専攻を受験する者で、建築・都市計画専修を希望する者は、面接の際、本人の作品であることを証明するもの(例えば、指導教授による証明等)を添付した建築設計作品2点以上を持参してください。

【博士後期課程】（※印は巻末の用紙）

出 願 書 類		備 考	一般入試	学内推薦入試	社会人入試
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○
2	※履 歴 票		○	○	○
3	写 真（2枚）	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm（カラー） 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○
4	修士課程(博士前期課程) 成績証明書	注1、2]	○	○	○
5	修士課程(博士前期課程) 修了証明書または 修了見込証明書	注1、2]	○	○	○
6	修士学位論文または それに準ずるもの	写し1部及び要旨5部 ただし、修了見込みの者は、要旨5部を提出すること	○	○	○
7	※職 務 経 験 書	社会人入学試験で受験する者のみ提出 2,000字程度、職務またはそれに準ずるもの 本要項巻末の表紙をつけて提出	—	—	○
8	内 諾 書	事前協議者のみ提出 希望する専修科目の指導教授または専攻主任が作成した もの ※本学大学院修了（見込）者は不要	○	—	○
9	資格試験に関する証明書	一般入学試験の志願者で、英語試験の免除を希望する者は、P.79の試験時間割の英語の備考欄に指定された資格に関する証明書（写し可）を提出すること。	○ (の談み者)	—	—

注1) 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2) 関東学院大学大学院・法科大学院を修了した者及び修了見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。

注3) 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、成績証明書及び博士後期課程の場合は修士学位論文等を総合して行います。

6. 試験科目及び試験時間割

【博士前期課程】

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	大学が用意する英和・和英辞書の使用可 TOEFL ITP550点 (iBT79点) 以上または TOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。
専門基礎 科目 (2科目)	各100点 計200点	10:20~12:20 (120分)	出願時に2科目選択(次ページの別表参照) 大学が用意する電卓の使用可
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	
面接	—	14:50~	口頭試問

(2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	14:50~	口頭試問

(3) 公募制推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	
面接	—	14:50~	口頭試問

(4) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	
面接	—	14:50~	外国文献読解力を含む口頭試問

(5) 外国人留学生入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
専門基礎 科目 (2科目)	各100点 計200点	10:20~12:20 (120分)	出願時に2科目選択(次ページの別表参照) 語学辞書使用可(ただし、電子辞書を除く) 大学が用意する電卓の使用可
小論文	100点	13:20~14:20 (60分)	語学辞書使用可(ただし、電子辞書を除く)
面接	—	14:50~	口頭試問

(別 表)

【博士前期課程】 専門基礎科目 試験科目表 (2科目選択)

試験科目		備 考
機械工学	応用数学 機械工学一般 工業熱力学 材料力学 機械力学 水力学(含む流体工学)	「応用数学」、「機械工学一般」のいずれか1科目と、「工業熱力学」、「材料力学」、「機械力学」、「水力学(含む流体工学)」のうちから1科目を選択
電気工学	数物科学専修 生物物理学 量子力学 解析学 理論電磁気学	数物科学専修を希望する者は、左記6科目から2科目を選択
	電子物性工学専修、電気エネルギー工学専修、情報システム工学専修 ・必須科目群 回路理論 電磁気学 ・選択科目群 コンピュータシステム 電気エネルギー工学 高電圧工学 電子物性工学 電波工学	電子物性工学専修、電気エネルギー工学専修、情報システム工学専修を希望する者は左記のうち、必須科目群から1科目、ならびに選択科目群から1科目を選択
	健康・人間医工学専修 解剖生理学 コンピュータシステム 人間・生体情報学 健康・リハビリテーション科学	健康・人間医工学専修を希望する者は、左記4科目から2科目を選択
情報学	情報理論 プログラミング ネットワーク工学 情報数 コンテンツクリエーション	左記5科目から2科目を選択
建築学	(1) 建築学一般 (2) 建築・都市計画 (3) 建築構造・生産学 (4) 建築設備・環境工学	(1)の試験科目を必須とし、さらに(2)～(4)の試験科目から希望する専修に相当する1科目を選択すること。 (1)の試験科目では、「建築・都市計画」、「建築構造・生産」、「建築設備・環境工学」から各2問の合計6問を出題するので、そのうち4問を選択して解答する。
土木工学	(1) 構造工学 (2) 地盤工学 (3) 水理学 (4) コンクリート工学 (5) 防災工学	(1)は構造力学と簡単な構造動力学も含む (2)は土質力学と地盤防災工学を含む (4)はコンクリート(その他の土木材料含む)に関する構造学及び材料学 (5)は地震防災を中心とする都市防災全般、一部土木工学一般を含む
物質生命科学	(1) 分析化学 (2) 無機化学 (3) 有機化学 (4) 物理化学 (5) 化学工学 (6) 生化学 (7) 分子生物学 (8) 細胞生物学 (9) 微生物学	(1)～(9)の試験科目から2科目を選択すること。ただし、生命科学専修を希望する者以外は、(1)～(5)の試験科目から1科目以上、生命科学専修を希望する者は、(6)～(9)の試験科目から1科目以上を必ず選択すること。

注1) 志願票に記入した試験科目2科目について解答すること。

志願票に記入した科目以外のものについて解答すると、その部分は無効となる。

【博士後期課程】

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
英語	100点	9:00~10:00 (60分)	辞書使用不可 TOEFL ITP550点 (iBT79点) 以上または TOEIC (L&R) 730点以上の者は英語の試験を免除する。 ※総合工学専攻の出題は専修ごとに行う。
面接	—	10:30~	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

(2) 学内推薦入学試験 (1月募集のみ)

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	10:30~	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備考
面接	—	10:30~	修士学位論文またはそれに準ずるものに基づく口頭試問

7. 試験場 (P.106、107参照)

関東学院大学 金沢八景キャンパス
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1

◎ 工学研究科授業科目表

機械工学専攻 博士前期課程

(2023年度実績)

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目	計測・制御工学専修	計測・制御工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 金田 徹	指導教授
		計測・制御工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	機械情報工学専修	機械情報工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 小松 督	指導教授
		機械情報工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	材料力学・設計工学専修	材料力学・設計工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		2023年度休講	
		材料力学・設計工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	流体工学専修	流体工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 宮永 宜典	指導教授
		流体工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	熱工学専修	熱工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 辻 森 淳	指導教授
		熱工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授 博士(工学) 武田 克彦	
材料・生産工学専修	材料・生産工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 柳 生 裕 聖	指導教授	
	材料・生産工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 内山 光夫* 准教授 博士(工学) 堀田 智哉		
必修科目	全専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 金田 徹 教授 博士(工学) 小松 督 教授 博士(工学) 辻 森 淳 教授 博士(工学) 柳 生 裕 聖 教授 博士(工学) 内山 光夫* 教授 博士(工学) 宮永 宜典 准教授 博士(工学) 堀田 智哉 准教授 博士(工学) 武田 克彦	指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4		

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選 択 科 目	全 専 修	機械工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 小松 督 非常勤講師 博士(工学) 野口 昭治		
		機械工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 辻 森 淳 非常勤講師 工学博士 野々下 知 泰		
		精密計測システム特論	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 金田 徹		
		計測情報処理特論	2		1・2	講義		2			
		機械情報工学特論	2		1・2	講義	2				
		ロボット工学特論	2		1・2	講義		2			
		システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 小松 督		
		システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		機械振動学特論	2		1・2	講義		2			
		機素材料特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 堀田 智哉		
		機素材料特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		設計工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 野口 昭治		
		設計工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		材料試験・評価特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 堀田 智哉		
		材料試験・評価特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		トライボロジー特論Ⅰ	2		1・2	講義	2				
		トライボロジー特論Ⅱ	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 宮永 宜典		
		流体潤滑特論Ⅰ	2		1・2	講義	2				
		流体潤滑特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		内燃機関特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 武田 克彦		
		内燃機関特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		流体工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 工学博士 野々下 知 泰		
		流体工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		熱工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 辻 森 淳		
		熱工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		圧縮性流体工学特論	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		機械工作法特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 内山 光夫*		
		機械工作法特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		機械材料特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 柳生 裕 聖		
		機械材料特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
生産管理特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 野口 昭治				
溶融加工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 工学博士 西 直 美				
溶融加工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2					
材料・加工物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 柳生 裕 聖				
材料・加工物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2					

※2024年3月定年退職予定

工
学
研
究
科

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目	電子物性工学専修	電子物性工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 島田和宏	指導教授
		電子物性工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	電気エネルギー工学専修	電気エネルギー工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 植原弘明 教授 博士(工学) 中野幸夫	指導教授 指導教授
		電気エネルギー工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	情報システム工学専修	情報システム工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 学術博士 銭飛 准教授 博士(工学) 石坂雄平	指導教授 指導教授
		情報システム工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	健康・人間医工学専修	健康・人間医工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 箕弘幸 教授 博士(体育科学) 高橋健太郎 講師 博士(リハビリテーション科学) 木村鷹介	指導教授 指導教授
		健康・人間医工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		
	数物科学専修	数物科学研究Ⅰ	数物科学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2	教授 工学博士 山田泰一 准教授 博士(工学) 北村美一郎 准教授 博士(理学) 船木靖郎	指導教授 指導教授
			数物科学研究Ⅱ	2	△	1	演習			
		数物科学研究Ⅱ	数物科学研究Ⅱ	2	△	1	演習		准教授 博士(理学) 中嶋大峻 講師 博士(理学) 古澤峻一 准教授 博士(理学) 大谷信一	指導教授 指導教授
			数物科学研究Ⅱ	2	△	1	演習	2		
必修科目	全専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2	教授 学術博士 銭飛 教授 工学博士 山田泰一 教授 博士(工学) 箕弘幸 教授 博士(工学) 島田和宏 教授 博士(工学) 植原弘明 教授 博士(工学) 中野幸夫 教授 博士(体育科学) 高橋健太郎 准教授 博士(工学) 北村美一郎 准教授 博士(理学) 船木靖郎 准教授 博士(工学) 石坂雄平 教授 博士(理学) 中嶋大峻 講師 博士(リハビリテーション科学) 木村鷹介 講師 博士(理学) 古澤峻一 准教授 博士(理学) 大谷信一	指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授	
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習	2			
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習	2			
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験	4			
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験	4			

工学研究科

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選 択 科 目	全 専 修	電波工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		電波工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		電子デバイス工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		電子デバイス工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		分子エレクトロニクス特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		分子エレクトロニクス特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		計算物性工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 島田和宏	
		計算物性工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		スマートグリッド工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 中野幸夫	
		スマートグリッド工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		高電圧工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 植原弘明	
		高電圧工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		インテリジェントシステム制御特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		インテリジェントシステム制御特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		並列分散システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 学術博士 銭 飛	
		並列分散システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		光デバイス工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 石坂雄平	
		光デバイス工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		情報システム運用学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		情報システム運用学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		神経工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 箕 弘 幸	
		神経工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
		生体計測工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		生体計測工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2		
バイオメカニクス特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(体育科学) 高橋健太郎			
バイオメカニクス特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
健康医科学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講師 博士(リハビリテーション科学) 木村鷹介			
健康医科学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				
原子核物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 山田泰一			
原子核物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2				

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選 択 科 目	全 専 修	神経生物物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 北村 美一郎		
		神経生物物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		量子物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 船木 靖郎		
		量子物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		高エネルギー天文学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 中嶋 大	旧科目名 「宇宙物理学特論Ⅰ」 旧科目名 「宇宙物理学特論Ⅱ」	
		高エネルギー天文学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		理論宇宙物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講師 博士(理学) 古澤 峻		
		理論宇宙物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		整数論特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		整数論特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		可換代数学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		可換代数学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		微分幾何学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		微分幾何学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		代数幾何学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 大谷 信一		
		代数幾何学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			

情報学専攻 博士前期課程

(2023年度実績)

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
専修科目	情報科学専修	情報科学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 塚田恭章 准教授 博士(理学) 本橋友江 准教授 博士(学術) 大墨礼子	指導教授	
		情報科学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2			
	情報通信工学専修	情報通信工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 水井 潔 准教授 博士(学術) 永長 知孝 講師 博士(工学) 平野 晃	指導教授	
		情報通信工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2			
	情報システムデザイン専修	情報システムデザイン研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 山本 政宏 教授 博士(工学) 元木 誠 准教授 博士(工学) 平澤 一樹	指導教授 指導教授 指導教授	
			2	△	1	演習		2	准教授 博士(情報学) 海老根 秀之 准教授 博士(工学) 小林 和彦 准教授 博士(工学) 高橋 聡		
		情報システムデザイン研究Ⅱ	2	△	1	演習		2			
	情報メディア工学専修	情報メディア工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		2023年度休講		
		情報メディア工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2			
	必修科目	全専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 水井 潔 教授 工学博士 山本 政宏 教授 博士(工学) 元木 誠	指導教授 指導教授 指導教授
文献研究ⅠB			2	○	1	演習		2	教授 博士(工学) 塚田 恭章 准教授 博士(工学) 平澤 一樹	指導教授 指導教授	
文献研究ⅡA			1	○	2	演習	2		教授 博士(工学) 塚田 恭章 准教授 博士(工学) 平澤 一樹	指導教授 指導教授	
文献研究ⅡB			2	○	2	演習		2	准教授 博士(理学) 本橋 友江 准教授 博士(学術) 永長 知孝		
研究実験ⅠA			1	○	1	実験	2		准教授 博士(学術) 永長 知孝 准教授 博士(情報学) 海老根 秀之		
研究実験ⅠB			2	○	1	実験		4	准教授 博士(工学) 小林 和彦 准教授 博士(学術) 大墨 礼子		
研究実験ⅡA			1	○	2	実験	2		准教授 博士(工学) 高橋 聡 講師 博士(工学) 平野 晃		
研究実験ⅡB			2	○	2	実験		4			

工学研究科

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選 択 科 目	全 専 修	ユビキタス情報技術特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 水 井 潔		
		ユビキタス情報技術特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		ネットワークセキュリティ特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 塚 田 恭 章		
		ネットワークセキュリティ特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		情報ネットワーク特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(学術) 永 長 知 孝		
		情報ネットワーク特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		情報通信システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 山 本 政 宏		
		情報通信システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		組み込みシステム・ロボット学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 元 木 誠		
		組み込みシステム・ロボット学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		マイコンシステム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 平 澤 一 樹		
		マイコンシステム特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		画像情報工学特論	2		1・2	講義	2022年度より廃止				
		医用情報工学特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(理学) 立 野 玲 子		
		映像メディア工学特論	2		1・2	講義	2		准教授 博士(情報学) 海老根 秀 之		
		コンテンツクリエイション特論	2		1・2	講義		2			
		情報芸術特論	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 小 林 和 彦		
		映像表現特論	2		1・2	講義		2			
		コンピューターグラフィックス特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講 師 博士(工学) 平 野 晃 昭		
		コンピューターグラフィックス特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		グラフ理論応用特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 本 橋 友 江		
		グラフ理論応用特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		計 算 特 論 Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(学術) 大 墨 礼 子		
		計 算 特 論 Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		知能システム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 高 橋 聡		
		知能システム特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
ソフトウェア品質管理特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 工学修士 手 塚 緊 吾				

工
学
研
究
科

建築学専攻 博士前期課程

(2023年度実績)

設計・計画系

△印：専修科目

○印：必修科目

無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目		建築・都市計画研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(美術) 黒田泰介 教授 博士(工学) 古賀紀江 教授 修士(工学) 柳澤潤	指導教授 指導教授 指導教授
		建築・都市計画研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授 M.L.A 中津秀之 准教授 修士(工学) 粕谷淳司 准教授 博士(工学) 酒谷粹将	指導教授
必修科目	建築・都市計画専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 博士(美術) 黒田泰介 教授 博士(工学) 古賀紀江 教授 修士(工学) 柳澤潤 准教授 M.L.A 中津秀之 准教授 修士(工学) 粕谷淳司 准教授 博士(工学) 酒谷粹将	指導教授 指導教授 指導教授 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2		
		研究演習実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究演習実験ⅠB	2	○	1	実験		4		
		研究演習実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
研究演習実験ⅡB	2	○	2	実験		4				

構造・生産系

△印：専修科目

○印：必修科目

無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目		建築構造・生産研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 高島英幸 教授 博士(工学) 渡部洋 教授 博士(工学) 神戸渡準	指導教授 指導教授 指導教授
		建築構造・生産研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	准教授 博士(工学) 李祥	
必修科目	建築構造・生産専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 高島英幸 教授 博士(工学) 渡部洋 教授 博士(工学) 神戸渡準 教授 博士(工学) 神戸渡準 准教授 博士(工学) 李祥	指導教授 指導教授 指導教授 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4				

工学研究科

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
専修科目		建築設備・環境工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 大塚 雅之	指導教授
		建築設備・環境工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 遠藤 智之 教授 博士(学術) 山口 温	指導教授 指導教授
必修科目	建築設備・環境工学専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 工学博士 大塚 雅之 教授 博士(工学) 遠藤 智之 教授 博士(学術) 山口 温	指導教授 指導教授 指導教授
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2			
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2			
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2			
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4		

選択科目	全専修	建築計画特論A	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		建築計画特論B	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 古賀 紀江	
		行動デザイン特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 林田 和人	冬期集中
		都市・地域計画特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 修士(都市工学) 片岡 公一	
		建築意匠特論	3		1・2	講義		4	准教授 修士(工学) 粕谷 淳司	
		建築・都市デザイン方法特論	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 酒谷 粹将	
		日本近代住宅史特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講	
		ランドスケープ特論	2		1・2	講義	2		准教授 M.L.A 中津 秀之	
		建築再生計画特論	2		1・2	講義		2	教授 博士(美術) 黒田 泰介	
		デザインスタジオⅠ	2		1・2	講義	4		准教授 博士(工学) 酒谷 粹将 教授 修士(工学) 柳澤 潤安 非常勤講師 工学修士 村松 基安	
		デザインスタジオⅡ	2		1・2	講義		4	准教授 修士(工学) 粕谷 淳司 教授 修士(工学) 柳澤 潤堅 非常勤講師 修士(工学) 高橋	
		建築構造計画特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 瀧本 哲也	
		建築構造力学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 渡部 洋	
		建築弾塑性学特論	2		1・2	講義		2	教授 工学博士 高島 英幸	
		建築構造設計特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 神戸 渡	
		建築構法学特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 平井 健嗣	
		ファシリティマネジメント特論	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 李 祥準	
		建築施工学特論A	2		1・2	講義	2			
		建築施工学特論B	2		1・2	講義		2		
		建築材料学特論A	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
建築材料学特論B	2		1・2	講義		2				
建築振動学特論A	2		1・2	講義	2		2023年度休講			
建築振動学特論B	2		1・2	講義		2	非常勤講師 工学修士 高坂 隆一	隔年開講		
鉄骨構造設計特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講			

工学研究科

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
							春学期	秋学期		
選 択 科 目	全 専 修	地震工学特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 加藤 研一	隔年開講
		複合構造特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講	
		建築高耐久化学特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 加藤 直樹	
		建築構造性能設計特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 大村 哲矢	
		建築環境計画特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 遠藤 智行	
		環境衛生工学特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講	
		建築熱・光環境工学特論	2		1・2	講義		2	教授 博士(学術) 山口 温	
		建築音響計画特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 笹尾 博行	
		建築設備機械特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講	
		空気調和計画特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 商船学士 鳥越 順之	
		建築給排水設備工学特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 工学修士 村田 博道	
		建築給排水設備計画特論	2		1・2	講義		2	教授 工学博士 大塚 雅之	
		建築設備自動制御特論	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 柴田 克彦	
		建築電気設備工学特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講	
		環境管理特論	2		1・2	講義	2		2023年度休講	
		建築防災工学特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講	
		建築士特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 古賀 紀江 教授 工学博士 高島 英幸 准教授 修士(工学) 粕谷 淳司 教授 博士(学術) 山口 温 准教授 博士(工学) 李 祥準	オムニバス 形式 夏期集中
インターンシップ*	4		1・2	実習	春		教授 博士(工学) 遠藤 智行 教授 博士(工学) 渡部 洋之	春期集中		
					秋		准教授 MLA 中津 秀之	夏期集中		

*インターンシップ履修上の注意事項

2～3月に実習体験をした者は、翌年度4月に「【春学期科目】インターンシップ（春期集中）」または「【秋学期科目】インターンシップ（秋期集中）」を履修登録する。

8～9月に実習体験を予定する者は、あらかじめ同年4月に「【秋学期科目】インターンシップ（秋期集中）」を履修登録する。

なお、春期集中科目と秋期集中科目を両方履修登録することはできないので、充分履修計画を立てること。

土木工学専攻 博士前期課程

(2023年度実績)

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
専修科目	構造工学専修	構造工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 北原武嗣	指導教授	
		構造工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2	教授 博士(工学) 中藤誠二	指導教授	
	コンクリート工学専修	コンクリート工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 出雲淳一	指導教授	
		コンクリート工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2			
	地盤工学専修	地盤工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 規矩大義	指導教授	
		地盤工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2			
	水工学専修	水工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		准教授 博士(工学) 福谷陽	指導教授	
		水工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2			
	防災工学専修	防災工学研究Ⅰ【J/E】	2	△	1	演習	2		教授 理学修士 前田直樹	指導教授	
		防災工学研究Ⅱ【J/E】	2	△	1	演習		2			教授 博士(工学) 鳥澤一晃
	必修科目	全専修	文献研究ⅠA【J/E】	1	○	1	演習	2		教授 博士(工学) 北原武嗣 教授 博士(工学) 中藤誠二 教授 工学博士 出雲淳一 教授 博士(工学) 規矩大義 教授 理学修士 前田直樹 准教授 博士(工学) 福谷陽 教授 博士(工学) 鳥澤一晃	指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授 指導教授
			文献研究ⅠB【J/E】	2	○	2	演習		2		
文献研究ⅡA【J/E】			1	○	1	演習	2				
文献研究ⅡB【J/E】			2	○	2	演習		2			
研究実験ⅠA【J/E】			1	○	1	実験	2				
研究実験ⅠB【J/E】			2	○	1	実験		4			
研究実験ⅡA【J/E】			1	○	1	実験	2				
研究実験ⅡB【J/E】			2	○	2	実験		4			

科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選 択 科 目	全 専 修	耐震構造学特論【J/E】	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 北原 武嗣	旧科目名 「構造設計 学特論」	
		構造設計学特論【J/E】	2		1・2	講義	2				
		橋梁工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 中藤 誠二		
		風工学特論	2		1・2	講義		2			
		コンクリート工学特論	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 出雲 淳一		
		コンクリート構造特論	2		1・2	講義		2			
		地盤耐震工学特論	2		1・2	講義		2	2023年度休講		
		地盤防災工学特論【J/E】	2		1・2	講義		2	教授 博士(工学) 規矩 大義		
		Advanced Study in Geotechnical Engineering	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		地震地盤工学特論【J/E】	2		1・2	講義	2		客員教授 工学博士 東畑 郁生		
		地盤工学特論【J/E】	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 規矩 大義	旧科目名 「地盤工学 特論」	
		地震学特論	2		1・2	講義	2		教授 理学修士 前田 直樹		
		地震工学特論	2		1・2	講義		2			
		Advanced Engineering for Earthquake Disaster Prevention	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		地震防災工学特論【J/E】	2		1・2	講義	2		2023年度休講		旧科目名 「地震防災 工学特論」
		Advanced Study in Geotechnical Numerical Analysis	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		Advanced Study in Aseismic Engineering	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
		災害リスク工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 鳥澤 一晃		
		都市防災学特論	2		1・2	講義		2			
		建設マネジメント工学特論	2		1・2	講義		2	客員教授 博士(工学) 関 雅樹		
		海岸工学特論	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 福谷 陽		
		流体力学特論	2		1・2	講義		2			
		Advanced Port Planning	2		1・2	講義	2023年度より廃止				
インターンシップⅠ【J/E】	2		1・2	実習	春		教授 博士(工学) 規矩 大義	夏期集中 旧科目名 「インターン シップⅠ」			
インターンシップⅡ【J/E】	2		1・2	実習	秋			冬期集中 旧科目名 「インターン シップⅡ」			

科目名についての注意事項

【J/E】が表記されている科目は、授業の一部を英語で行う。
英語で表記されている科目は、授業を全て英語で行う。

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考		
							春学期	秋学期				
専修科目	有機・高分子化学専修	有機・高分子化学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 香西博明	指導教授		
		有機・高分子化学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2				
	薬品化学専修	薬品化学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		准教授 博士(理学) 山平多恵子	指導教授 新設		
		薬品化学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2				
	無機材料・固体物理化学専修	無機材料・固体物理化学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 濱上寿一	指導教授		
		無機材料・固体物理化学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2				
	エレクトロニクス実装工学専修	電気化学・表面工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 工学博士 小岩一郎 准教授 博士(理学) 友野和哲	指導教授		
		電気化学・表面工学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2				
	生命科学専修	生命科学専修	生命科学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 農学博士 川原一芳	指導教授	
										教授 博士(農学) 海老原充	指導教授	
										教授 博士(農・職学) 飯田博一	指導教授	
			生命科学研究Ⅱ	2	△	1	演習		2		教授 博士(理学) 清水由巳	指導教授
											教授 博士(理学) 近藤陽一	指導教授
											教授 博士(歯学) 尾之上さくら	指導教授
環境工学専修	環境工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		准教授 博士(工学) 鎌田素之	指導教授			
								講師 博士(生物資源科学) 中山良一				
材料・表面工学専修	材料・表面工学研究Ⅰ	2	△	1	演習	2		教授 博士(工学) 田代雄彦	指導教授			
								教授 博士(工学) 盧柱亨				
必修科目	全専修	文献研究ⅠA	1	○	1	演習	2		教授 博士(工学) 香西博明	指導教授		
		文献研究ⅠB	2	○	1	演習		2	准教授 博士(理学) 山平多恵子	指導教授		
		文献研究ⅡA	1	○	2	演習	2		教授 工学博士 濱上寿一	指導教授		
		文献研究ⅡB	2	○	2	演習		2	教授 工学博士 小岩一郎	指導教授		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2		准教授 博士(理学) 友野和哲	指導教授		
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4	教授 農学博士 川原一芳	指導教授		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2		教授 博士(農学) 海老原充	指導教授		
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4	教授 博士(農・職学) 飯田博一	指導教授		
必修科目	全専修	研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2		教授 博士(理学) 清水由巳	指導教授		
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4	教授 博士(理学) 近藤陽一	指導教授		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2		准教授 博士(工学) 鎌田素之	指導教授		
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4	教授 博士(歯学) 尾之上さくら	指導教授		
		研究実験ⅠA	1	○	1	実験	2		教授 博士(工学) 田代雄彦	指導教授		
		研究実験ⅠB	2	○	1	実験		4	教授 博士(工学) 盧柱亨	指導教授		
		研究実験ⅡA	1	○	2	実験	2		講師 博士(理学) 新家弘也	指導教授		
		研究実験ⅡB	2	○	2	実験		4	講師 博士(生物資源科学) 中山良一	指導教授		

工学研究科

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選 択 科 目	全 専 修	有機合成化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 香西博明	隔年開講	
		有機合成化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		機能性高分子材料化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		機能性高分子材料化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		薬品化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 山平多恵子		
		薬品化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		無機合成化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 濱上寿一		
		無機合成化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		分光化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		分光化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		先進表面工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		先進表面工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		電気化学システム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		電気化学システム特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		エレクトロニクス実装工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 工学博士 小岩一郎		
		エレクトロニクス実装工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		電気化学分析システム特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(理学) 友野和哲		
		電気化学分析システム特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		分子生物学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2017年度より廃止				
		分子生物学特論Ⅱ	2		1・2	講義					
		生物物理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	電気工学専攻開講科目「神経生物物理学特論Ⅰ」で振替				
		生物物理学特論Ⅱ	2		1・2	講義	電気工学専攻開講科目「神経生物物理学特論Ⅱ」で振替				
		糖脂質科学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 農学博士 川原一芳		
		糖脂質科学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		化学感覚特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(農学) 海老原充		
		化学感覚特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		生命医薬科学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(人間・環境学) 飯田博一		
		生命医薬科学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		真菌学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(理学) 清水由巳		
		真菌学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		植物生理学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(理学) 近藤陽一		
		植物生理学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
医療衛生学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(歯学) 尾之上 さくら				
医療衛生学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2					
藻類バイオマスト論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講師 博士(理学) 新家弘也				
藻類バイオマスト論Ⅱ	2		1・2	講義		2					
生命化学工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2020年度より廃止						
生命化学工学特論Ⅱ	2		1・2	講義							

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
選択科目	全専修	化学工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		講師 博士(生物資源科学) 中山良一		
		化学工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		水環境工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		准教授 博士(工学) 鎌田素之		
		水環境工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		環境化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		環境化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		無機機能材料特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 理学博士 大柿真毅		
		無機機能材料特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		セラミックス特論	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		触媒化学特論	2		1・2	講義		2			
		化学システム工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		2023年度休講		
		化学システム工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		環境システム化学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 佐野慶一郎		
		環境システム化学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		環境材料工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(工学) 大越昌幸		
		環境材料工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		半導体材料工学特論	2		1・2	講義		2	非常勤講師 博士(工学) 笠井直記		
		外国語講読特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		非常勤講師 博士(理学) クリストファー・コルドニエ		
		外国語講読特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
		インターンシップ	2		1・2	実習			秋	2023年度休講	夏期集中
		材料・表面工学特論	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 田代雄彦 教授 博士(工学) 香西博明 教授 博士(工学) 佐野慶一郎 教授 博士(工学) 盧柱亨		
		機能性薄膜特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 田代雄彦		
		機能性薄膜特論Ⅱ	2		1・2	講義		2			
電気・電子材料工学特論Ⅰ	2		1・2	講義	2		教授 博士(工学) 盧柱亨				
電気・電子材料工学特論Ⅱ	2		1・2	講義		2					

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	専修	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考	
							春学期	秋学期			
専修科目	機械工学専修	計測・制御工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 金田 徹	指導教授	
		機械情報工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 小松 督	指導教授	
		流体工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 宮永 宜典	指導教授	
		熱工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 辻 森 淳	指導教授	
		材料・生産工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 柳 生 裕 聖	指導教授	
	電気工学専修	電子物性工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2023年度休講		
		計算物性工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 島田 和 宏	指導教授	
		高電圧工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 植原 弘 明	指導教授	
		電気エネルギー工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 中野 幸 夫	指導教授	
		情報システム工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 学術博士 銭 飛	指導教授	
		生体情報学特殊研究	4	△	1	演習	2019年度より廃止				
	健康・人間医工学専修	生体情報学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 箕 弘 幸	指導教授	
	数物科学専修	原子核物理学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 山田 泰 一	指導教授 旧科目名「数物科学特殊研究」	
		量子多体系物理学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	准教授 博士(理学) 船木 靖 郎	指導教授	
		高エネルギー天文学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	准教授 博士(理学) 中嶋 大	指導教授	
	情報学専修	電波・通信工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 水 井 潔	指導教授	
		情報セキュリティ特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 塚田 恭 章	指導教授	
		情報メディア工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2023年度休講		
		情報システムデザイン特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 元木 誠	指導教授	
	土木工学専修	構造工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 北原 武 嗣	指導教授	
		コンクリート工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 中藤 誠 二	指導教授	
		地盤工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 出雲 淳 一	指導教授	
		防災工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 規矩 大 義	指導教授	
	応用化学専修	無機物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 濱上 寿 一	指導教授	
		表面物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 小岩 一 郎	指導教授	
	生命科学専修	生命機能科学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 農学博士 川原 一 芳	指導教授 旧科目名「生命科学特殊研究」	
		生命有機化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(人間・職業学) 飯田 博 一	指導教授	
		植物分子生物学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(理学) 近藤 陽 一	指導教授	
		真菌資源科学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(理学) 清水 由 巳	指導教授	
	材料・表面工学専修	材料・表面工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 田代 雄 彦	指導教授	
		有機物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 盧 柱 亨	指導教授	
			有機物質化学特殊研究	4	△	1	演習	2	教授 博士(工学) 香西 博 明	指導教授	

工学研究科

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	科 目	単位	必 選 別	配 当 年 次	授 業 形 態	週時間数		担 当 者	備 考
						春学期	秋学期		
選 択 科 目	超精密計測情報システム特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 工学博士 金 田 徹	
	空気調和設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2018年度より廃止			
	ロボット工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 小 松 督	
	トライボロジー特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 宮 永 宜 典	
	熱工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 辻 森 淳	
	材料・加工物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 柳 生 裕 聖	
	電子デバイス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	分子エレクトロニクス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	計算物性工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 島 田 和 宏	
	高電圧工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 植 原 弘 明	
	大規模分散システム構成論特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 学術博士 銭 飛	
	生体情報学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 箕 弘 幸	
	電気エネルギー工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 中 野 幸 夫	
	光デバイス工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 石 坂 雄 平	
	原子核物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 工学博士 山 田 泰 一	
	量子多体系物理学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(理学) 船 木 靖 郎	
	高エネルギー天文学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(理学) 中 嶋 大	
	通信システム工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 工学博士 山 本 政 宏	
	情報通信工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 工学博士 水 井 潔	
	情報セキュリティ特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 塚 田 恭 章	
	組込みシステム・ロボット学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 元 木 誠	
	耐震構造学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 北 原 武 嗣	
	風工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 中 藤 誠 二	
	コンクリート工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 工学博士 出 雲 淳 一	
	地盤工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 規 矩 大 義	
	地震工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 理学修士 前 田 直 樹	
	水防災工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 福 谷 陽	
	都市防災学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 鳥 澤 一 晃	
	無機素材化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 博士(工学) 濱 上 寿 一	
	物性化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	エレクトロニクス実装特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 工学博士 小 岩 一 郎	
	化学工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	水環境特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	准教授 博士(工学) 鎌 田 素 之	
環境化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講		
触媒化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講		
生命機能科学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教 授 農学博士 川 原 一 芳	旧科目名 [生命機能 工学特殊講義]	

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
選 択 科 目	生命有機化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(人間環境学)</small> 飯田博一	
	動物分子生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(農学)</small> 海老原 充	
	植物分子生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(理学)</small> 近藤 陽一	
	真菌資源科学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(理学)</small> 清水 由巳	
	動物細胞生物学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(歯学)</small> 尾之上 さくら	
	材料・表面工学特殊講義Ⅰ	4		1・2・3	講義	2	2	非常勤講師 <small>博士(理学)</small> クリストファー コルドニエ	
	材料・表面工学特殊講義Ⅱ	4		1・2・3	講義	2	2	非常勤講師 <small>博士(理学)</small> クリストファー コルドニエ	
	高分子材料化学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(工学)</small> 香西 博明	
	表面処理工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	表面解析工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(工学)</small> 田代 雄彦	
	電気・電子材料工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 <small>博士(工学)</small> 盧 柱亨	

建築学専攻 博士後期課程

(2023年度実績)

△印：専修科目 ○印：必修科目 無印：選択科目

種別	科目	単位	必選別	配当年次	授業形態	週時間数		担当者	備考
						春学期	秋学期		
専修科目	建築・都市計画学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(工学) 古賀紀江	指導教授
	建築再生計画特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 博士(美術) 黒田泰介	指導教授
	建築都市デザイン学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 修士(工学) 柳澤潤	指導教授
	建築構造学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 高島英幸	指導教授
	建築材料・施工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	2023年度休講	
	建築設備・環境工学特殊研究	4	△	1	演習	2	2	教授 工学博士 大塚雅之 教授 博士(工学) 遠藤智行	指導教授 指導教授
選択科目	建築計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 古賀紀江	
	都市・地域計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	建築デザイン特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 修士(工学) 柳澤潤	
	建築再生計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(美術) 黒田泰介	
	建築史特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	建築構造学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 渡部洋	
	建築構造計画特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 神戸渡	
	建築材料特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	建築施工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	環境設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(学術) 山口温	
	都市衛生工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	人間環境工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	建築電気設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	2023年度休講	
	建築給排水設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 大塚雅之	
	建築弾塑性論特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 工学博士 高島英幸	
建築空調設備工学特殊講義	4		1・2・3	講義	2	2	教授 博士(工学) 遠藤智行		

1. 募集人数

研究科	専攻	入学定員
		修士課程
看護学研究科	看護学専攻	8

注] 上記入学定員を一般入学試験、学内推薦入学試験、社会人入学試験で募集します。

2. 出願資格

【修士課程】

(1) 一般入学試験

P. 1～2 「2. 出願資格」をご参照ください。

(2) 学内推薦入学試験

次のいずれかに該当する者

- ① 本学を卒業見込みの者で、学業成績及び人物ともに優れ、出願に先立って学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者
- ② 本学を卒業後、3年以上を経た者で、研究意欲及び人物ともに優れ、出願に先立って学部より推薦され、本研究科が出願を認めた者

(3) 社会人入学試験

一般入学試験の出願資格のいずれかに該当し、3年以上の実務経験を有する者

注] 「出願資格認定」希望者は、P. 1 に記載の期日までにアドミッションズセンターへ申し出てください。

3. 事前協議について

看護学研究科を志望する者は、出願に先立って志望する研究分野の指導教授と以下の日程により事前協議を行います。出願を希望する者は、「事前協議申込書」、及び「履歴票」(本要項巻末の用紙。出願時に必要なため、事前協議では写しを提出)を申込締切日までにアドミッションズセンターに提出してください。

	申込締切日	事前協議日	実施方法
8月募集	7月25日(火)	個別に調整し決定する。	オンラインで実施する。
1月募集	2024年 1月12日(金)		

4. 出 願 書 類

各証明書は、発行日より3ヶ月以内のものを提出してください。

(国外で発行された証明書については、発行日を問いません)

国外で発行された成績証明書・卒業証明書等は、日本語または英語で記載されたもの（もしくは、公的機関・公的翻訳資格を有する者が行った日本語訳または英語訳が添付されたもの）を提出してください。

(※印は巻末の用紙)

出 願 書 類		備 考	一般入試	学内推薦入試	社会人入試
1	志 願 票	本学受験生サイトより資料請求すること P.108、109「志願票記入例」参照	○	○	○
2	※ 履 歴 票		○	○	○
3	写 真 (2 枚)	志願票と履歴票に1枚ずつ貼付 サイズ縦4cm×横3cm(カラー) 出願受付開始日前3ヶ月以内に撮影したもの 裏面に氏名を記入	○	○	○
4	成 績 証 明 書	注1、3]	○	○	○
5	卒業証明書もしくは 卒業見込証明書または 学位(称号)授与証明書	注1、2、3] 短期大学または高等専門学校の専攻 科修了見込みの者は、修了見込証明書及び学位授与 申請書 専修学校の専門課程修了(見込み)の者は、修了(見 込み)証明書及び高度専門士の称号を取得すること を証明する書類	○	○	○
6	※ 志 望 理 由 書	A4判の用紙1枚程度 本要項巻末の表紙をつけて提出	○	○	○
7	※ 研 究 計 画 書	2,000字程度	○	○	○
8	看護師等の免許証等の写し (免許取得者のみ)	看護師、助産師、保健師のうち保有する免許証すべ ての写し (A4判に縮小すること)	○ (の該 み者)	—	○ (の該 み者)
9	出 願 資 格 認 定 書	本研究科における出願資格審査により資格認定を受 けた者	○ (の該 み者)	—	○ (の該 み者)

注1] 婚姻等の理由により、証明書記載の氏名が現在の氏名と異なる場合は、本人であることを証明する公的な書類を添付してください。

注2] 外国の大学の卒業(見込み)者は、学位授与(見込み)証明書を提出してください。

注3] 関東学院大学(大学院・法科大学院含む)を卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者は、上記書類4、5は提出する必要はありません。

注4] 出願時に健康診断書の提出は不要です。入学後、本学で実施する健康診断を必ず受けてください。

5. 選 抜 方 法

入学者の選抜は、筆記試験、面接、書類審査を総合して行います。

6. 試験科目及び試験時間割

(1) 一般入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
専門科目	100点	10:00~11:00 (60分)	出願時に「(別表①) 試験科目(分野・領域)表」から1分野1領域を選択
英 語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書・電子辞書持込可
面 接	100点	12:40~	研究計画書に基づく口頭試問

(2) 学内推薦入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
面 接	100点	12:40~	研究計画書に基づく口頭試問

(3) 社会人入学試験

試験科目	配点	試験時間	備 考
英 語	100点	11:20~12:20 (60分)	辞書・電子辞書持込可
面 接	200点	12:40~	研究計画書に基づく口頭試問

(別表①) 試験科目(分野・領域)表

分 野	領 域
看 護 管 理 学	看 護 管 理 学
生 活 支 援 看 護 学	母 性 ・ 小 児 看 護 学
	高 齢 者 ・ 在 宅 看 護 学
療 養 支 援 看 護 学	療 養 支 援 看 護 学

7. 試 験 場 (P.106、107参照)

関東学院大学 金沢八景キャンパス：図書館棟1F

〒236-8503 横浜市金沢区六浦東1-50-1

◎ 看護学研究科授業科目表

看護学専攻 修士課程

(2023年度実績)

○印：必修科目

△印：選択科目

科目区分	授業科目の名称	単位数	必修別	配当年次	週時間数		クラス	担当者 (2023年度)	授業形態	研究指導	
					春	秋					
共通科目 I	看護研究方法論	2	○	1	2			教授 永西 田真弓 教授 西飯 岡久美 准教授 留焔 尾美沙 准教授 留焔 美江	講義	○ ○ ○	
	看護理論	2	○	1	2			教授 島木 田多佳子 准教授 勝川 下川里美 准教授 ケニ ヨ由美 准教授 佐藤 充子 准教授 佐藤 亜月	講義	○	
	看護管理論	2	△	1	2			教授 平 田 明 美 専任講師 渡 辺 真 弓	講義	○	
	看護継続教育論	2	△	1	2			教授 青 木 由美恵 教授 平 田 明美志 非常勤講師 黒 鈴 木 篤恵	講義	○ ○	
	看護政策論	2	△	1		2		教授 坂 梨 薫 非常勤講師 齋 藤 子 非常勤講師 石 田 昌 非常勤講師 小 池 智 非常勤講師 高 橋 徳 非常勤講師 濱 本 美 非常勤講師 松 田 安 非常勤講師 松 田 恵	講義	○	
	共通科目 II	看護と法律	1	△	1	1			非常勤講師 永 嶋 久 義	講義	
		看護と経済	1	△	1	1			非常勤講師 金 城 悠 貴	講義	
		看護と環境	1	△	1		1		教授 大 塚 雅 教授 古 賀 紀 教授 遠 藤 智 准教授 中 津 秀 准教授 粕 谷 淳 准教授 山 口 之 准教授 山 口 江 准教授 山 口 行 准教授 山 口 温	講義	
	専門科目	看護管理学特論	1	△	1	1			教授 平 田 明 美	講義	○
		看護管理学特講 I	1	△	1	1			教授 平 田 明 美	講義	○
看護管理学特講 II		2	△	1	2			教授 平 内 明 美 非常勤講師 河 野 繁 非常勤講師 熊 谷 秀 雅	講義	○	
看護管理学特講 III		2	△	1		2		教授 平 田 明 美	講義	○	
看護管理学演習		2	△	1		2		教授 平 田 明 美 専任講師 渡 辺 真 弓	演習	○	
看護管理学特別演習		2	△	1	2			教授 平 田 明 美 専任講師 渡 辺 真 弓	演習	○	
看護管理学特別研究 I (春)		5	△	2	5			教授 平 田 明 美 専任講師 渡 辺 真 弓	演習	○	
看護管理学特別研究 I (秋)		5	△	2		5		教授 平 田 明 美 専任講師 渡 辺 真 弓	演習	○	
看護管理学特別研究 II (春)		5	△	2	5			教授 平 田 明 美 専任講師 渡 辺 真 弓	演習	○	
看護管理学特別研究 II (秋)	5	△	2		5		教授 平 田 明 美 専任講師 渡 辺 真 弓	演習	○		

看護学研究科

科目区分	授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	週時間数		クラス	担当者 (2023年度)	授業形態	研究指導
					春	秋				
専門科目 生活支援看護学領域 学分 野	生活支援看護学特論	1	△	1	1			教授 島田多佳子 教授 坂青梨木薫 教授 永木由美 教授 齋藤真訓 准教授 留畑美江	講義	○ ○ ○
	母性・小児看護学特講Ⅰ	1	△	1	1			教授 坂永梨薫 准教授 飯尾真弓 准教授 ケニヨシ美由子	講義	○ ○ ○
	母性・小児看護学特講Ⅱ	2	△	1	2			教授 永坂真弓 准教授 飯尾美沙 非常勤講師 池川明子 非常勤講師 高橋昭美 非常勤講師 廣瀬幸輝	講義	○ ○ ○
	母性・小児看護学特講Ⅲ	2	△	1	2			教授 永勝真弓 准教授 ケニヨシ美由子 非常勤講師 大津山宜明 非常勤講師 棒山明詩	講義	○
	母性・小児看護学演習	2	△	1	2			教授 永坂真弓 准教授 飯尾美沙 准教授 ケニヨシ美由子	演習	○ ○ ○
	母性・小児看護学特別演習	2	△	1	2			教授 永坂真弓 准教授 飯尾美沙 准教授 ケニヨシ美由子	演習	○ ○ ○
	高齢者・在宅看護学特講Ⅰ	1	△	1	1			教授 齋藤訓子 准教授 青木由美 留畑美江	講義	○
	高齢者・在宅看護学特講Ⅱ	2	△	1	2			非常勤講師 青木由美 非常勤講師 高橋実 非常勤講師 松崎穂	講義	○
	高齢者・在宅看護学特講Ⅲ	2	△	1	2			教授 青齋由美 非常勤講師 西野愛 非常勤講師 平山理香 非常勤講師 大津明美	講義	○
	高齢者・在宅看護学演習	2	△	1	2			教授 青齋由美 准教授 留畑美江	演習	○
	高齢者・在宅看護学特別演習	2	△	1	2			教授 青齋由美 准教授 留畑美江	演習	○

看護学研究科

科目区分	授業科目の名称	単位数	必選別	配当年次	週時間数		クラス	担当者 (2023年度)	授業形態	研究指導	
					春	秋					
専門科目	生活支援看護学分野	生活支援看護学特別研究Ⅰ（春）	5	△	2	5	母性・小児	教授 永坂 田 真 弓 教授 飯尾 梨 美 薫 准教授 勝川 ヨン 由 沙 准教授 ケニ ユン 美 子 美 子 子 子	演習	○ ○ ○	
							高齢者・在宅	教授 青 木 由 美 恵 教授 齋 藤 訓 多 佳 子 准教授 島 田 寿 美 江 留 畑 美 江			○
		生活支援看護学特別研究Ⅰ（秋）	5	△	2	5	母性・小児	教授 永坂 田 真 弓 教授 飯尾 梨 美 薫 准教授 勝川 ヨン 由 沙 准教授 ケニ ユン 美 子 美 子 子 子	演習	○ ○ ○	
							高齢者・在宅	教授 青 木 由 美 恵 教授 齋 藤 訓 多 佳 子 准教授 島 田 寿 美 江 留 畑 美 江			○
		生活支援看護学特別研究Ⅱ（春）	5	△	2	5	母性・小児	教授 永坂 田 真 弓 教授 飯尾 梨 美 薫 准教授 勝川 ヨン 由 沙 准教授 ケニ ユン 美 子 美 子 子 子	演習	○ ○ ○	
							高齢者・在宅	教授 青 木 由 美 恵 教授 齋 藤 訓 多 佳 子 准教授 島 田 寿 美 江 留 畑 美 江			○
	生活支援看護学特別研究Ⅱ（秋）	5	△	2	5	母性・小児	教授 永坂 田 真 弓 教授 飯尾 梨 美 薫 准教授 勝川 ヨン 由 沙 准教授 ケニ ユン 美 子 美 子 子 子	演習	○ ○ ○		
						高齢者・在宅	教授 青 木 由 美 恵 教授 齋 藤 訓 多 佳 子 准教授 島 田 寿 美 江 留 畑 美 江			○	
	療養支援看護学分野	療養支援看護学領域	療養支援看護学特論	1	△	1	1		教授 木 下 里 美 教 西 岡 久 美 准 西 岡 美 子 教 川 島 治 子 准 佐 藤 亜 月 子		講義
			療養支援看護学特講Ⅰ	1	△	1	1		教授 木 下 里 美 教授 西 岡 島 美 子 准 川 佐 藤 治 子	講義	○ ○
			療養支援看護学特講Ⅱ	2	△	1	2		教授 西 岡 久 美 子 教授 木 川 島 美 子 准 佐 藤 亜 月 子	講義	○ ○
			療養支援看護学特講Ⅲ	2	△	1	2		准教授 佐 藤 亜 月 子 教授 木 西 岡 美 子 教授 川 島 治 子 准 佐 藤 久 美 子	講義	○ ○
療養支援看護学演習			2	△	1	2		教授 西 岡 久 美 子 教授 木 川 島 治 子 准 川 佐 藤 亜 月 子	演習	○ ○	
療養支援看護学特別演習			2	△	1	2		教授 木 下 里 美 教授 西 岡 島 美 子 准 川 佐 藤 治 子	演習	○ ○	

看護学研究科

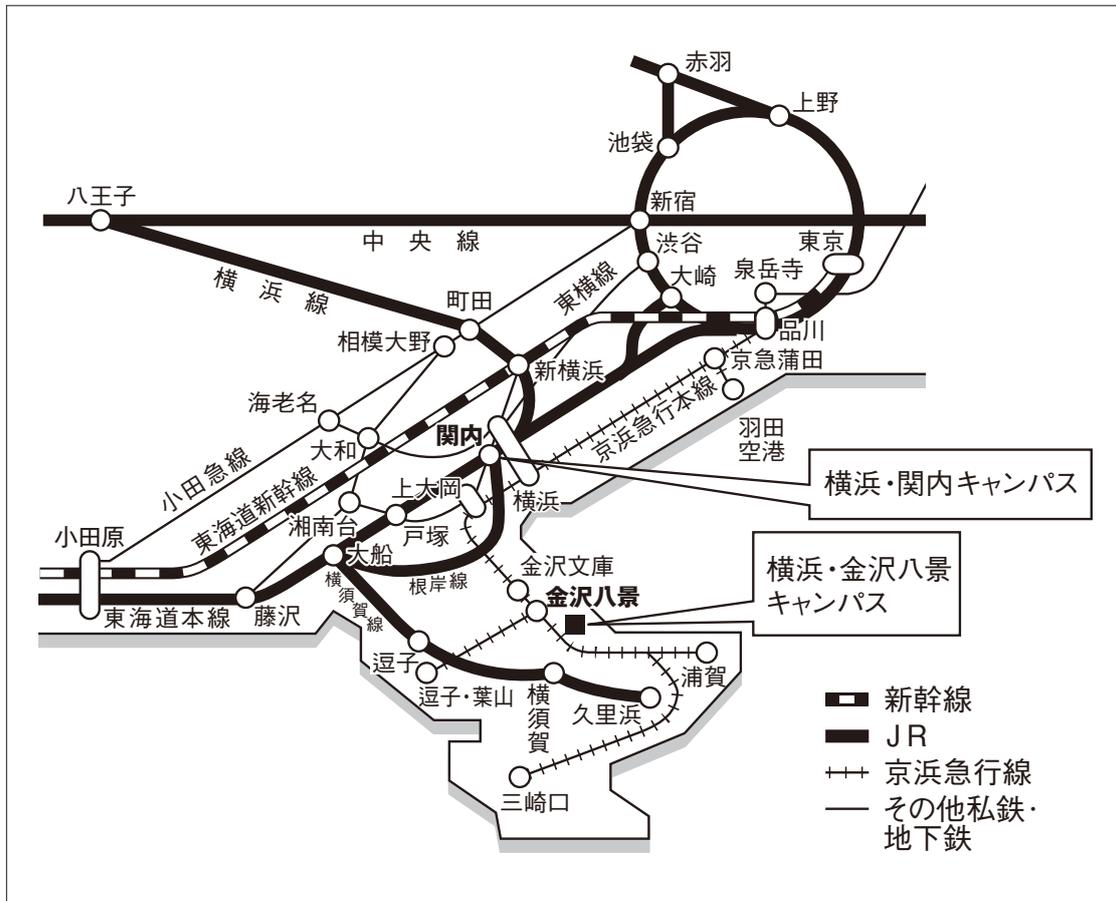
科目区分	授業科目の名称	単位数	必 選 別	配 当 年 次	週時間数		ク ラ ス	担 当 者 (2023年度)	授 業 形 態	研 究 指 導
					春	秋				
専 門 科 目 分 野	療養支援看護学特別研究Ⅰ（春）	5	△	2	5			教授 木下里美 教授 西岡久美子 准教授 川佐藤亜月子	演習	○ ○
	療養支援看護学特別研究Ⅰ（秋）	5	△	2		5		教授 木下里美 教授 西岡久美子 准教授 川佐藤亜月子	演習	○ ○
	療養支援看護学特別研究Ⅱ（春）	5	△	2	5			教授 木下里美 教授 西岡久美子 准教授 川佐藤亜月子	演習	○ ○
	療養支援看護学特別研究Ⅱ（秋）	5	△	2		5		教授 木下里美 教授 西岡久美子 准教授 川佐藤亜月子	演習	○ ○

【履修方法】

1. 学生は入学の際、専門科目の専門領域4領域のうちから1領域を選択し、当該領域の担当教員のうちから大学院看護学研究科委員会において決定された主指導教員及び副指導教員の指導のもとに所定の研究を行う。
2. 授業科目については、主指導教員の指導により履修するものとする。
3. 授業科目については、開講科目の中から、以下の区分に従って2年以上にわたって30単位以上を履修し、修得しなければならない。
 - (1) 共通科目
共通科目Ⅰ 2科目4単位必修
1科目2単位選択必修（「看護管理論」「看護継続教育論」のうち、いずれか1科目）
 - (2) 専門科目
専攻する領域が配置されている分野の配当科目8科目20単位必修
・〈看護管理学〉〈母性・小児看護学〉〈高齢者・在宅看護学〉〈療養支援看護学〉の4領域のうち1領域を選択し、同領域の5科目を履修する。
・「特論」、「特別研究Ⅰ」、「特別研究Ⅱ」については、選択した領域が属する分野の科目を履修する。
 - (3) 上記（1）及び（2）以外に4単位以上選択必修
・共通科目Ⅰ・Ⅱまたは、専門科目他分野・他領域の特講Ⅰ～Ⅲから4単位選択。ただし、共通科目Ⅱから必ず1単位以上を履修すること。
4. 各年次で履修できる単位の上限は28単位とする。
5. 年度初めに、その年度の春学期及び秋学期に履修するすべての受講科目を教務課に申請し、所定の期日までに履修登録を完了しなければならない。
6. 年度初めに登録した秋学期履修科目を変更する場合は、変更理由書に主指導教員の確認印を得て、所定の期日までに履修登録変更届を提出しなければならない。

【修了要件】

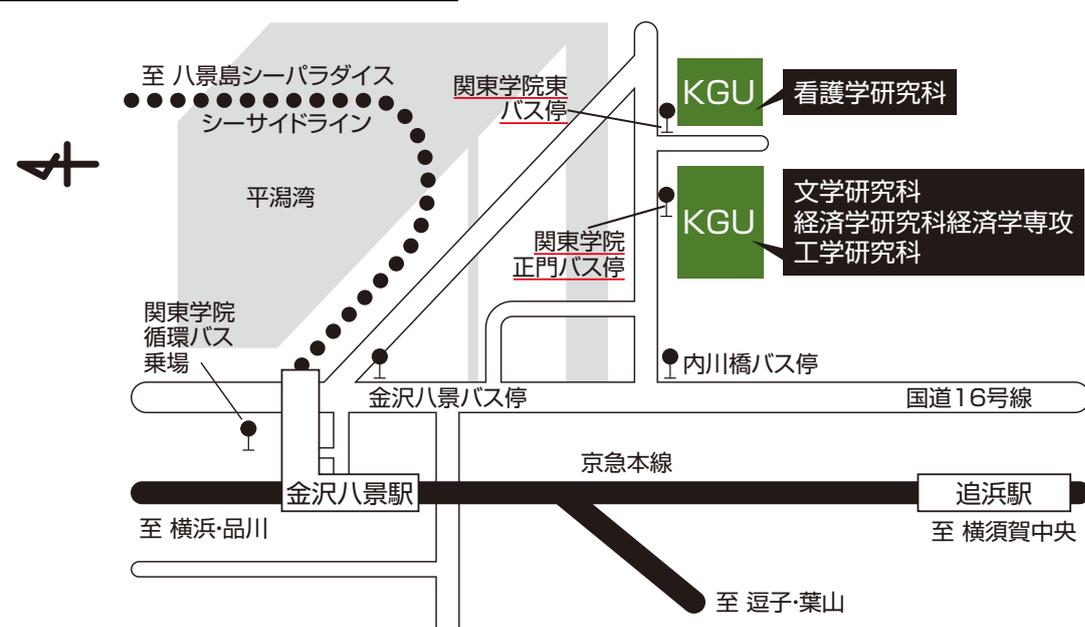
看護学研究科修士課程看護学専攻に2年以上在学し、30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で修士論文の審査、及び最終試験に合格すること。



修学キャンパスについて

横浜・金沢八景キャンパス

文学研究科、経済学研究科経済学専攻
工学研究科、看護学研究科

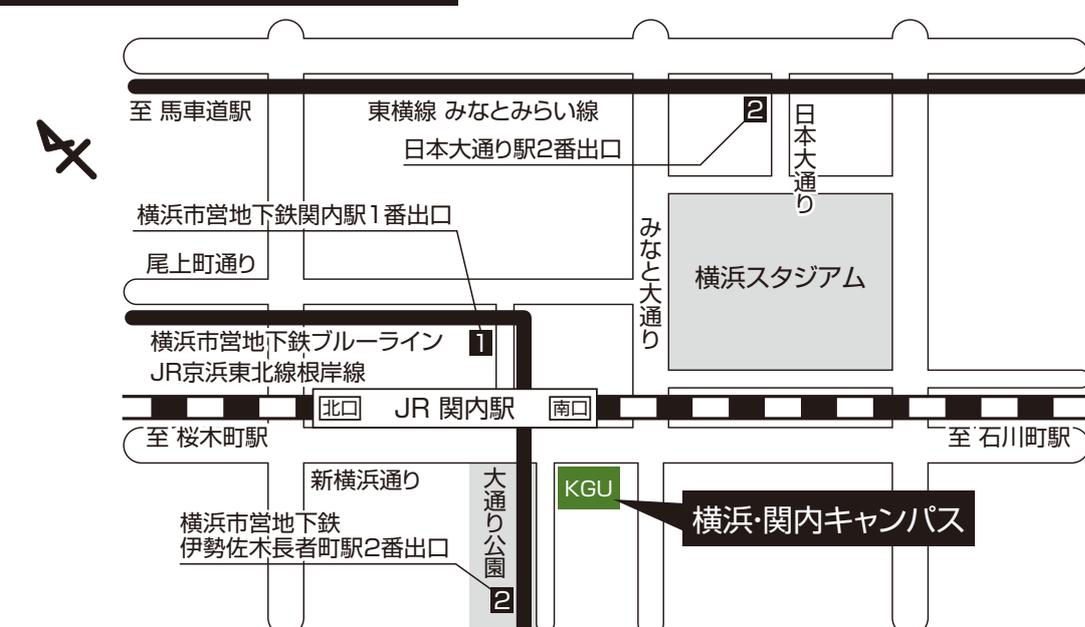


〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東1-50-1 TEL.(045)786-7019 (アドミッションズセンター)

- 下車駅 京浜急行線またはシーサイドライン「金沢八景駅」
- 「金沢八景駅」からキャンパスまで 「金沢八景駅」から徒歩約15分。
バスを利用する場合は、文学研究科、経済学研究科経済学専攻、工学研究科は「金沢八景駅」バス停①乗場から京浜急行バス（ハ8系統関東学院循環）で約5分「関東学院正門」下車。
看護学研究科は「関東学院東」下車（休日、祝日、大学休業期間等は運休）。

横浜・関内キャンパス

経済学研究科経営学専攻、法学研究科



〒231-0031 神奈川県横浜市中区万代町1-1

- JR京浜東北線・根岸線「関内駅」南口から徒歩約2分
- 横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」1番出口から徒歩約5分
- 東横線みなとみらい線「日本大通り駅」2番出口から徒歩約8分

キャンパス案内図

A票

[A票表面]

2024年度 関東学院大学 大学院 志願票

A票はHBの鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。裏面も忘れずに記入してください。マーク欄は塗りつぶしてください。また、折り曲げたり記入欄以外の部分を汚さないようにしてください。

■ 志願者情報

※姓と名の間を1マスあけて記入してください。濁点・半濁点は次のマスに記入してください。

カナ カントウ マナブ

※姓と名の間を1マスあけて記入してください。

漢字 関東学

※外国籍(外国人)のみ記入。姓と名の間を1マスあけて記入してください。

英字 氏名

生年月日(西暦) 2001年10月06日 性別 男 女

電話番号(自宅) 045-786-7019 電話番号(携帯) 090-1234-5678

郵便番号 236-8501
 都道府県 神奈川県 市区町村 横浜市金沢区
 地名・番地 六浦東1-50-1
 建物名・部屋番号等

※1マスに1文字ずつ左詰めで記入してください。マスに入りきらない場合は建物名を省略し、記入してください。

■ 出願資格(出願資格としての学歴を記入すること)

卒業・修了(見込)年月(西暦) 2024年03月

出身大学・大学院等名 関東学院大学
 出身学部・研究科等名 理工学部
 出身学科/コース専攻等名 電気・電子コース

出身大学区分				大学院出身者		本学出身者		外国籍(外国人のみマーク)	外国籍にマークした方は国名を記入
国立	公立	私立	その他	修士課程出身	博士前期課程出身	学部	大学院	<input type="checkbox"/>	

■ 志望課程・専攻・募集時期

課程	専攻/コース	8月募集	1月募集	課程	専攻・専修	8月募集	1月募集
博士前期・修士	英語英米文学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	博士後期	英語英米文学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	比較日本文化専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		比較日本文化専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	社会学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		社会学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	経済学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		経済学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	経営学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		経営学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	法学専攻(研究者養成コース)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		法学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	法学専攻(専修コース)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(機械工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地域創生専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(電気工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	機械工学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(健康人間医学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	電気工学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(数物科学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	情報学専攻	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(情報学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	建築学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(土木工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	土木工学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(応用化学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	物質生命科学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(生命科学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	看護学専攻	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		総合工学専攻(材料・表面工学専修)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
						建築学専攻	<input type="checkbox"/>

※裏面も忘れずに記入してください。

[UCARO] との出願連携で必要になるので、必ず控えること。

※ 出願番号

1234567

※出願番号は、「UCARO(ウカロ)」から受験票を印刷する際、入力が必要となりますので、控えておいてください。

濁点、半濁点も1文字とする。

外国人のみ記入。姓と名の間は1マスあける。

月日が一ケタの場合は、頭に0をつける。

出身大学・学部などは、正確に。

志望する専攻、募集時期を正しくマークする。

写真貼付欄

写真の裏に氏名を記入のうえ、全面のり付けしてください。(縦4cm×横3cm)

裏面に氏名を記入のうえ、はがれないように、しっかりとのり付け。

収納印がないと検定料の支払いが確認できません。(本学学生及び卒業生は検定料免除です。)

入学検定料

¥35,000-



〔A票裏面〕

■ 選抜区分

一般	学内推薦	社会人	社会人推薦	外国人留学生	公募制推薦	英語検定 有資格者特別	法科大学院 修了者特別	新司法試験 合格者特別	自治体等推薦
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>								

■ 希望指導教授、試験科目

○希望指導教授 ※全員記入してください。

希望指導教授

金沢花子教授

○試験科目 ※全員記入してください。

学生募集要項の「試験科目及び試験時間割」を参照し、受験する全ての試験科目を記入してください。
また、選択する科目、分野・領域、科目免除がある場合には試験科目の右欄に必ず記入してください。

試験科目	選択する科目、分野・領域、科目免除がある場合は記入
英語	科目免除
専門基礎科目	①回路理論 ②コンピュータシステム
小論文	
面接	

各研究科、「試験科目及び試験時間割」を確認して、記入すること。

→ 本学へ提出

B票

金融機関で切りはなしてください

〔B票〕
2024年度
入学検定料

電信扱 振込依頼書 (取扱店保存) 科目 ※

※印欄は記入しないでください。

④ ③ ② ① ◎ 取扱金融機関へお願い
窓口取扱いでお願いします。

① 太線を打電してください。
② 出題番号は志願者氏名の前にならずに打電してください。
③ 収納印は1・2・3ともなく正確に押印後、B票を金融機関で
保存し、残りのA・Cの各票を依頼人にお返しくたさい。

依頼日	令和 5 年 8 月 1 日	振込指定	電信扱	手数料	
振込先銀行	1 三井住友銀行 横浜中央支店	普通	3 0 8 1 1 2 0	金額	¥ 3 5 0 0 0
振込先銀行 の番号1~2 (を○で囲む)	② 横浜銀行 横浜支店	普通	1 0 6 4 4 9 7	現金	
受取人 口座名	ガク)カントウガクイン 学校法人 関東学院			当店券	
	関東学院大学 入学検定料 TEL 045(786)7019			印	
依頼人	出願番号	志願者氏名(カタカナ)			
	1234567	カントウ マナブ			
	志願者氏名 (漢字)	関東学			
	住所 〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 TEL 045(786)7019				
	金融機関取扱期限日 2024年1月19日(金)				

取扱金融機関取封印 2

→金融機関に提出 (本学学生及び卒業生は検定料の払い込みは必要ありません。A票から切り離さずに、そのままご提出ください。)
[この用紙はゆうちょ銀行では使用できません]

C票

〔C票〕本人保存
2024年度関東学院大学
入学検定料振込金受取書

依頼日	令和 5 年 8 月 1 日
受取人	関東学院大学
振込先銀行	横浜銀行 横浜支店
金額	¥ 3 5 0 0 0
手数料	
志願者名 志氏	関東学
※出願番号	1234567

上記のとおり入学検定料として領収いたしました。
※出願番号は、「UCARO(ウカロ)」から受験票を印刷する際、入力が必要となりますので、控えておいてください。

関東学院大学

取扱金融機関取封印 3 (入学検定料)

→本人保存
(大学に提出された場合、返還しません。)

志願票記入例

関 東 学 院 大 学 大 学 院

事 前 協 議 申 込 書

年 月 日

フリガナ	
氏 名	

学 籍 番 号	※	ゼミ・ 研 究 室 名	※	ゼミ 研 究 室
入 学 試 験 志 望 専 攻 (○で囲む)	一 学 内 推 般 学 募 制 薦 社 会 推 薦 社 会 人 推 薦 外 国 人 留 学 生 法 科 大 学 院 修 了 者 新 司 法 官 資 格 者 英 語 検 定 有 格 者 自 治 体 等 推 薦	博 士 前 期 ・ 修 士 ----- 博 士 後 期	研 究 科	専 攻 専 修
出 身 大 学 等	大 学	国 公 立 大 学	学 部	学 科
	大 学 院	国 公 立 大 学 大 学 院	研 究 科	専 攻
連 絡 先		E-mail		
		自 宅 TEL () —		
		携 帯 電 話 等 TEL () —		
希 望 専 修 科 目 名 (該 当 者 の み 記 入)		希 望 指 導 教 授 名		
備 考				

※印欄は本学出身者のみ記入してください。

◆事前協議の申込締切日及び必要な書類は、各研究科の「事前協議について」を参照のこと。

〈申込方法〉

1. 郵送の場合は、下記宛に必要な書類を全て送付してください。
〒236-8501 横浜市金沢区六浦東1-50-1 「関東学院大学 アドミッションズセンター 大学院係」
（「事前協議申込書在中」と封筒に朱書きしてください）
2. メールの場合は、下記宛に必要な書類を全て添付して送信してください。
nyushi@kanto-gakuin.ac.jp
件名「事前協議の申込について」

鉛筆書き不可

受験番号
(記入しない)

関東学院大学大学院 履 歴 票

志望専攻 (○で囲む)	博士前期・修士課程／博士後期課程	選抜区分 (○で囲む)	・一般入試 ・学内推薦入試 ・公募制推薦入試 ・社会人入試 ・社会人推薦入試 ・自治体等推薦入試 ・法科大学院修了者特別選抜試験 ・外国人留学生入試 ・新司法試験合格者特別選抜試験 ・英語検定有資格者特別入試
	研究科 専攻		

フリガナ		写真貼付欄 写真の裏に氏名を記入の上、全面的り付けしてください。 (縦4cm×横3cm)
氏名		
住所	〒 -	
TEL(自宅)	() -	
TEL(携帯・職場等)	() -	
E-mail		

生年月日	年 月 日 (満 歳)	性別	男 ・ 女
------	-------------	----	-------

外国籍 (外国人のみ記入)	留学の在留資格	あり ・ なし
------------------	---------	---------

学 歴 (出身学校が日本国外の場合、所在地欄には国名を記入。また、現在卒業・修了見込みの者は卒業・修了年月欄に卒業・修了見込み年月を記入)	学校名(学部・学科／コースまで記入)	所在地(都道府県名)	入学年月(西暦)	卒業・修了年月(西暦)
		小学校		年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月

職 歴 (企業・施設が日本国外の場合、所在地欄には国名を記入。また、現在職業に就いている者は退職年月欄に「現在に至る」と記入)	企業・施設名	所在地(都道府県名)	就職年月(西暦)	退職年月(西暦)
				年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月
			年 月	年 月

進路希望調査 (博士前期課程に出席する者のみ○で囲む)	博士前期課程修了後 (1) 継続して博士後期課程へ進学することを希望 (2) 企業・施設等へ就職することを希望 (3) 現在の企業・施設等に引き続き勤務する
--------------------------------	--

比較日本文学専攻希望専攻分野 経済学研究科希望専攻分野 工学研究科希望専攻 看護学研究科希望領域	希望指導教授
---	--------

◎試験科目 (該当者のみ記入)

英語英米文学専攻 専攻科目 (○で囲む)	英米文学 ・ 英語学	法学研究科論文科目・法律科目 経済学研究科経済学専攻専門科目 工学研究科専門基礎科目 看護学研究科専門科目(1科目)	① ②	外国語科目 (○で囲む)	英語 ドイツ語 フランス語 中国語 朝鮮語 日本語
----------------------------	------------------	---	--------	-----------------	---------------------------------

本学出身 (学部・大学院) は学籍番号を記入	法学研究科コース (法学研究科法学専攻博士前期課程の 一般入学試験の場合のみ○で囲む)	研究者養成コース ・ 専修コース
------------------------	---	------------------------

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院

職務経歴書 (表紙)

課程(○で囲む)	博士前期課程・修士課程・博士後期課程
志望専攻	研究科 専攻
選抜区分	社会人入試

フリガナ	
氏名	

◇ 任意の A4 判の用紙を使用し、職務経歴を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可

関東学院大学大学院 社会人（推薦）入学試験 在職（所属）する機関等の推薦状

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

機関等名 _____

所属長名 _____ 印

関東学院大学大学院の社会人（推薦）入学試験制度による入学志願者として、以下の者を推薦します。

課 程	博士前期課程
志望専攻	文学研究科 社会学専攻

フリガナ	
氏 名	

(推薦理由)

◇ 志願者の人物・勤務状況等の所見をご記入ください。

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院
経済学研究科
研究計画書 (表紙)

課程(○で囲む)	博士前期課程・博士後期課程
志望専攻 (○で囲む)	経済学専攻・経営学専攻
選抜区分 (○で囲む)	一般入試 学内推薦入試 社会人入試 外国人留学生入試

フリガナ	
氏名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ 任意のA4判の用紙を使用し、研究テーマ・研究目的・研究計画を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院

法学研究科

研究計画書 (表紙)

課程(○で囲む)	博士前期課程・修士課程・博士後期課程
志望専攻 (○で囲む)	法学専攻 地域創生専攻
選抜区分 (○で囲む)	一般入試 学内推薦入試 社会人入試 外国人留学生入試 自治体等推薦入試

フリガナ	
氏名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ 任意の A4 判の用紙を使用し、研究テーマ・研究目的・研究計画を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院
法学研究科
リサーチペーパー (表紙)

志望専攻	博士後期課程
	法学研究科 法学専攻
選抜区分 (どちらか○で囲む)	法科大学院修了者特別選抜試験 新司法試験合格者特別選抜試験

フリガナ	
氏名	

論文題名	
------	--

- ◇ 任意の A4 判の用紙を使用し、本表紙をつけて提出してください。
- ◇ 必ず日本語で記述してください。(字数15,000字程度、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可

関東学院大学大学院 自治体等推薦入学試験 推薦状

年 月 日

関東学院大学 学長 殿

自治体等名

任命権者等名

㊟

関東学院大学大学院の自治体等推薦入学試験制度による入学志願者として、
以下の者を推薦します。

課 程	博士前期課程
志望専攻	法学研究科 地域創生専攻

所 属	
(フリガナ)	()
氏 名	

【推薦理由】 (志願者の人物・勤務状況等の所見をご記入ください。)

提出日： 年 月 日

法学研究科 既修得単位事前照会願

関東学院大学大学院
法学研究科委員長 殿

氏名	
住所	〒
電話番号	
メールアドレス	
志望する専攻	1. 法学専攻 2. 地域創生専攻
志望するコース ※法学専攻のみ	1. 研究者養成コース 2. 専修コース
受験を希望する 選抜区分	1. 一般入試 2. 社会人入試 3. 自治体等推薦入試 4. 外国人留学生入試 5. 科目等履修生
既修得単位のある大学院	(年 月 修了／修了見込み)

私が既に修得した（修得予定含む）下記の科目及び単位について、成績表及びシラバス等関連資料を添付しますので、入学後に貴研究科の単位として認定していただけるか照会いたします。

記

修得科目（単位）		認定希望科目（単位）
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)
(単位)	→	(単位)

以上

(注)

- ・この制度によって認定可能な単位の上限は15単位です。
- ・その科目のシラバスまたは講義内容がわかる資料を添付してください。修得見込み科目がある場合、入学手続き後、修得したことを証明する成績表の提出がない場合、認定が取り消されることがあります。

関東学院大学大学院 公募制推薦入学試験 推 薦 状

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

学 校 名 _____

職 位・役 職 等 _____

氏 名 _____ ㊞

関東学院大学大学院の公募制推薦入学試験制度による入学志願者として、以下の者を推薦します。

志 望 専 攻	博 士 前 期 課 程	フリガナ	
	工 学 研 究 科 専 攻	氏 名	

(推薦理由)

鉛筆書き不可

受験番号
(記入しない)

関東学院大学大学院 看護学研究科
入学試験出願資格認定申請書

関東学院大学 学長殿

貴大学院看護学研究科入学試験の出願資格認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請いたします。

年 月 日

ふりがな

氏名

生年月日 年 月 日生

〒 —

現住所

電話番号： — —

西暦	学歴 (高等学校卒業から記入してください)
年 月	高等学校卒業
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院

看護学研究科

研究計画書 (表紙)

課 程	修士課程
志 望 専 攻	看護学研究科・看護学専攻
選 抜 区 分 (○で囲む)	一 般 入 試 学 内 推 薦 入 試 社 会 人 入 試

フリガナ	
氏 名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ 任意のA4判の用紙を使用し、研究テーマ・研究目的・研究計画を詳しく記入のうえ、本表紙をつけて提出してください。
(字数2,000字程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可

受験番号 (記入しない)	
-----------------	--

関東学院大学大学院
看護学研究科
志望理由書 (表紙)

課 程	修士課程
志 望 専 攻	看護学研究科・看護学専攻
選 抜 区 分 (○で囲む)	一 般 入 試 学 内 推 薦 入 試 社 会 人 入 試

フリガナ	
氏 名	

希望指導教授名	
---------	--

◇ (A4判の用紙 1 枚程度、横書き、ワープロ使用可)

鉛筆書き不可

長期履修申請書

20 年 月 日

関東学院大学 学長 殿

_____ 研究科 _____ 専攻 _____ 課程

受験番号 _____

フリガナ

氏 名 _____

下記のとおり長期にわたる教育課程の履修を申請します。

記

入学予定年月日	2024年 4月 1日
現住所	〒 _____ TEL () _____
勤務先	名称・職種等
	所在地
長期履修申請期間	年 月 日から 年 月 日まで (年間)
理由	
履修計画	
(*) 指導教員の所見	署名 _____

*空欄のまま提出してください。

在 職 証 明 書

ふりがな

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 性別 男・女

上記の者は、下記の通り当社に在職していることを証明いたします。

記

1. 所属部署 _____
2. 入社年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日 勤続 _____ 年 _____ ヶ月
3. 地位 (役職等) _____
4. 給与 (月額) _____
5. 勤務時間 午前・午後 _____ 時 _____ 分 ~ 午前・午後 _____ 時 _____ 分
6. 勤務内容 _____

年 月 日

証明者

所在地 〒 _____

連絡先 _____

企業名 _____

事業主氏名 (役職・氏名)

_____ 印

2023年度入学試験状況表(大学院) 1月募集

課程	研究科	試験区分 専攻	一般		学内推薦		公募推薦		社会人		社会人推 薦		外国人 留学生		法科 修了者		新司法試験 合格者		英語検定有 資格者		自治体等 推薦		合計					
			志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格	志願	合格		
博士前期・修士課程	文学研究科	英語英米文学専攻																										
		比較日本文化専攻			1	0							1	0											2	0		
		社会学専攻								1	1															1	1	
		合計			1	0				1	1			1	0											3	1	
	経済学研究科	経済学専攻			1	1																				1	1	
		経営学専攻											1	0												1	0	
		合計			1	1							1	0												2	1	
	法学研究科	法学専攻	2	1						11	2			1	0											14	3	
		地域創生専攻								2	2												2	2		4	4	
		合計	2	1						13	4			1	0								2	2		18	7	
	工学研究科	機械工学専攻	2	2	1	1							2	2												5	5	
		電気工学専攻			3	3							2	2												5	5	
		情報学専攻			1	1							1	0												2	1	
		建築学専攻	4	4	3	3							1	0												8	7	
		土木工学専攻								1	1															1	1	
		物質生命科学専攻	1	1	5	5	2	2																		8	8	
		合計	7	7	13	13	2	2	1	1			6	4												29	27	
	看護学研究科	看護学専攻																										
		合計																										
	合計			9	8	15	14	2	2	15	6			9	4									2	2	52	36	
	博士後期課程	文学研究科	英語英米文学専攻	1	1																					1	1	
			比較日本文化専攻								2	2															2	2
			社会学専攻																									
			合計	1	1						2	2															3	3
		経済学研究科	経済学専攻																									
			経営学専攻																									
			合計																									
法学研究科		法学専攻																										
		合計																										
工学研究科		建築学専攻																										
		総合工学専攻			2	2				2	2															4	4	
		合計			2	2				2	2															4	4	
合計			1	1	2	2			4	4															7	7		
合計			10	9	17	16	2	2	19	10			9	4									2	2	59	43		



関東学院大学 アドミッションズセンター

KANTO GAKUIN UNIVERSITY

◇ 事務取扱時間

月～金 9:00～16:00
(11:10～12:10を除く)
土 9:00～12:00

(日・祝日・夏期・冬期休業期間等を除く)
夏期休業期間: 8月14日(月)～8月17日(木)
冬期休業期間: 12月25日(月)～1月4日(木)

〒236-8501 神奈川県横浜市金沢区六浦東 1-50-1 ☎ 045-786-7019

〔E-mail〕 nyushi@kanto-gakuin.ac.jp

〔ホームページ〕 <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>